

防災（地震）に関する県民意識調査結果

和歌山県危機管理局総合防災課

目的：和歌山県では東南海・南海地震など大規模災害に備えるため、県として今後取り組むべき施策を体系的にまとめた「和歌山県地震防災対策アクションプログラム」を平成15年度に策定しました。また、同年12月、東南海・南海地震対策特別措置法（略称）に基づく推進地域に県内50市町村すべてが指定されました。このような状況の中、今後の防災対策の基礎資料とするため防災（地震）に関する県民の方々の意識調査を実施しました。

調査実施年月：平成16年1月

対象：県内全市町村を対象に人口比により各市町村選挙人名簿から総計3千人を無作為抽出

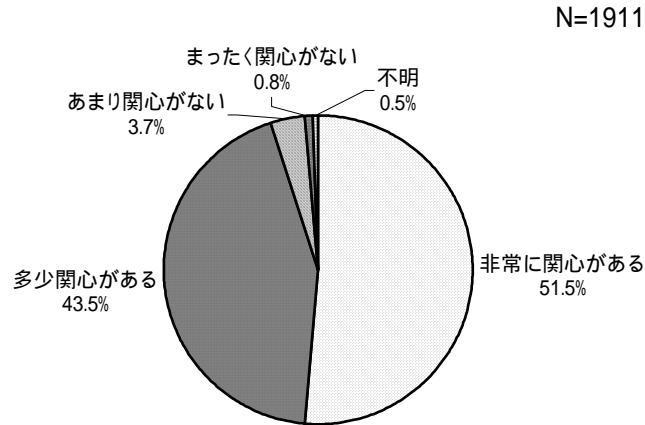
回答率：63.7%（1,911名から回答あり）

設問及び回答結果の集計と分析：別紙のとおり

四捨五入による計算の都合上、合計が100%にならない場合があります。

【 1 . 東南海・南海地震について、おたずねします】

問 1 . あなたは東南海・南海地震にどの程度関心を持っていますか。
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

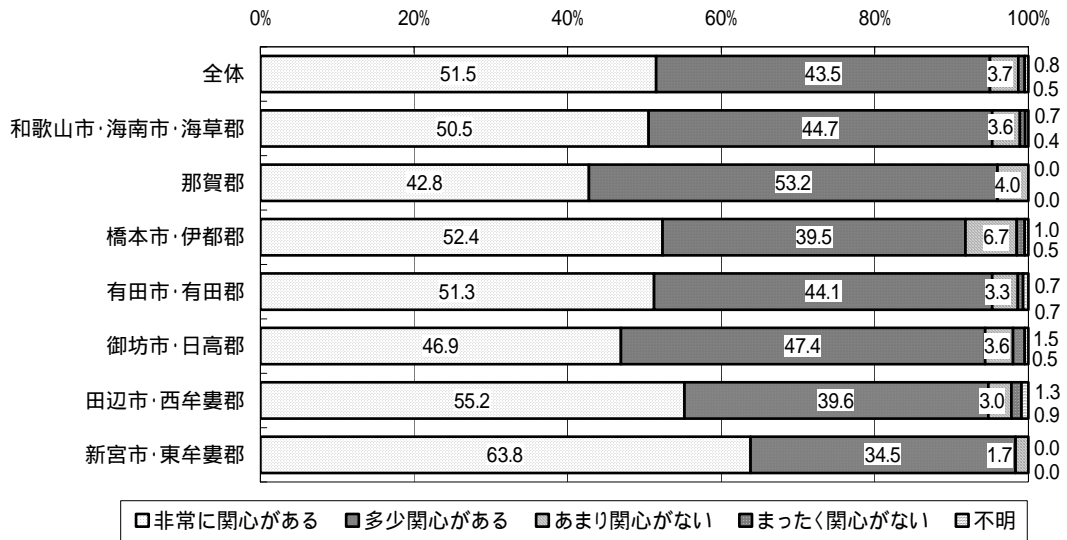


東南海・南海地震についてどの程度関心を持っているかでは「非常に関心がある」が51.5%と半数以上を占め、「多少関心がある」(43.5%)をあわせると95.0%の人が東南海・南海地震に関心を持っている結果となった。

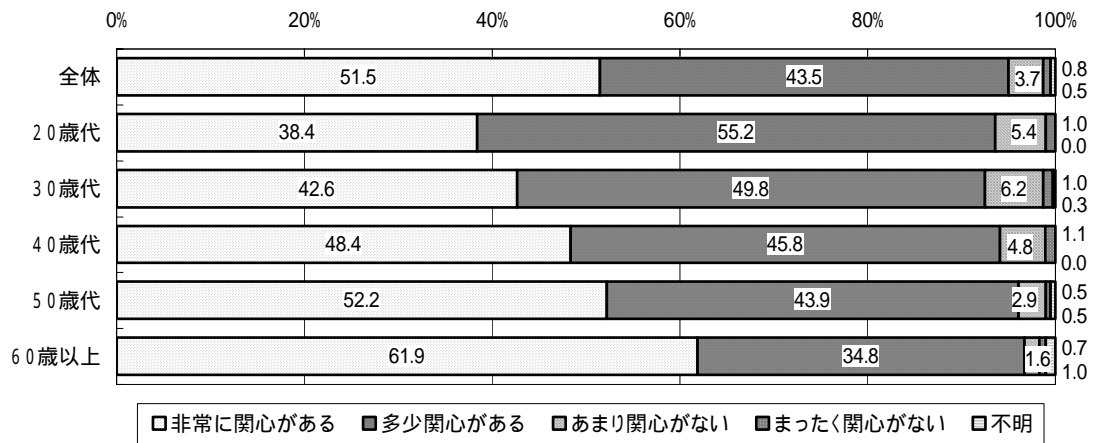
地域別でみると「関心がある」(「非常に関心がある」+「多少関心がある」)と回答した人はどの地域も90%以上となっているが、「非常に関心がある」と回答した人は「新宮市・東牟婁郡」で63.8%、「田辺市・西牟婁郡」で55.2%と和歌山県南部の方が関心が高くなっている。

年齢別でみると各年代とも「関心がある」と回答した人が90%を超えている。また、「非常に関心がある」と回答した人は20～40歳代では50%未満であるが、50歳代は52.2%、60歳以上では61.9%と年齢が高いほど関心を持つ人が多くなっている。

(地域別集計)

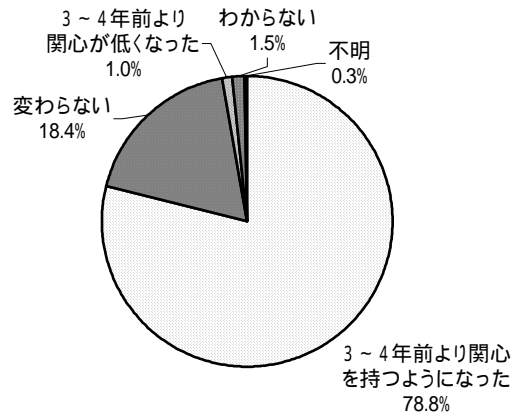


(年齢別集計)



問2 . あなたは東南海・南海地震に対して、3～4年前と比べて関心を持つようになりましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N=1911

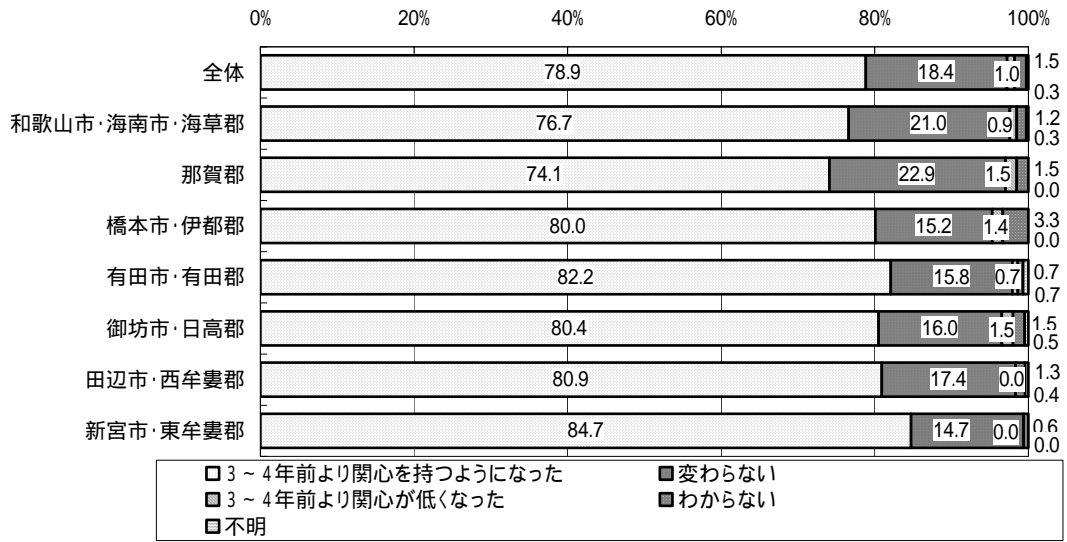


東南海・南海地震に対して3～4年前と比べて関心を持つようになったかの質問で「3～4年前より関心を持つようになった」と回答した人が78.9%と年々関心が高くなってきている結果となった。

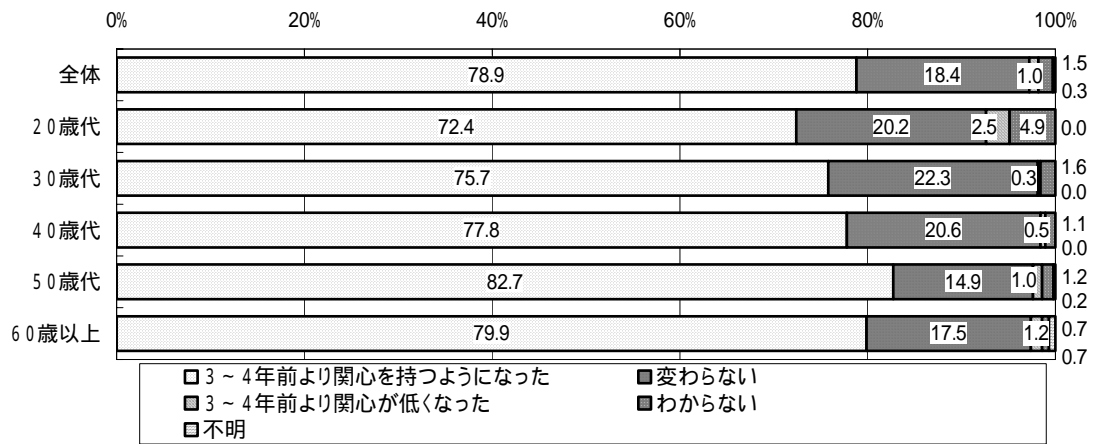
地域別では「3～4年前より関心を持つようになった」は和歌山市・海南市・海草郡では76.7%、那賀郡で74.1%に対して橋本市・伊都郡をはじめとしたその他5地域では80%を超え、特に新宮市・東牟婁郡では84.7%と最も高くなっている。

年代別で見ると「3～4年前より関心を持つようになった」と回答した人は各年代とも70%以上となっており、20歳代で72.4%に対して50歳代で82.7%、60歳以上で79.9%と年代が高いほど関心が高くなっている。

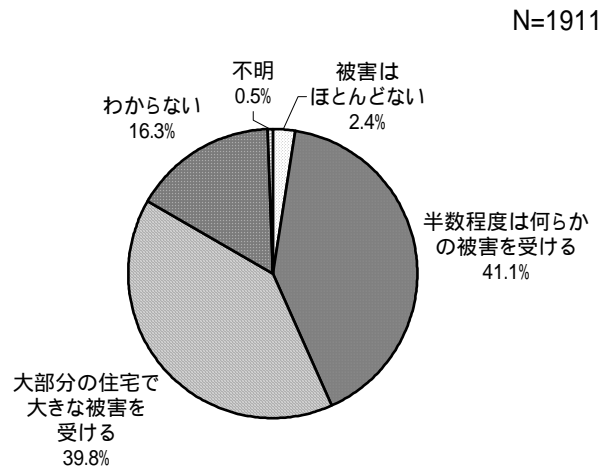
(地域別集計)



(年齢別集計)



問3 . 東南海・南海地震のような大規模地震が発生した場合、あなたの居住地周辺の住宅被害はどの程度だと思われますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

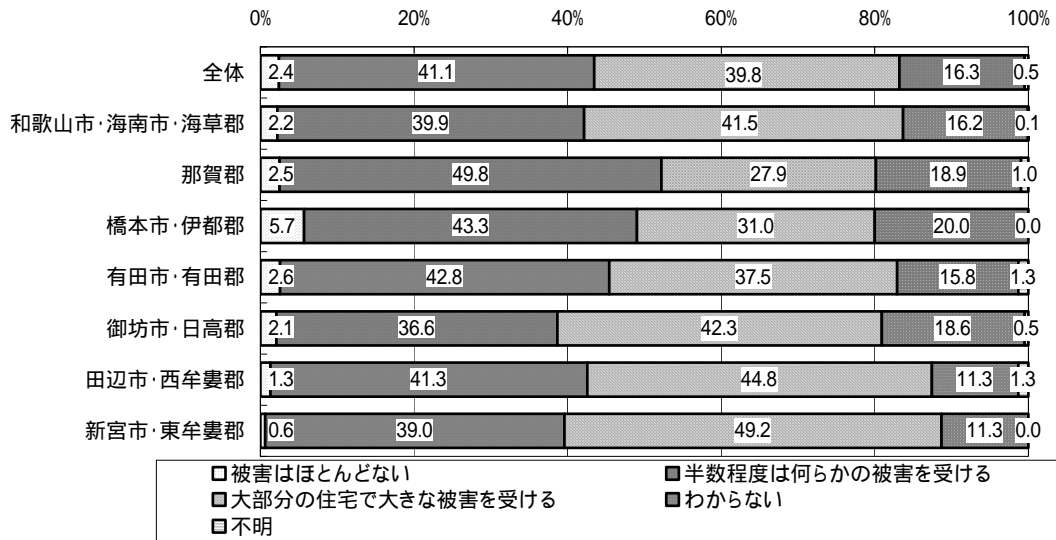


東南海・南海地震のような大規模地震が発生した場合、居住地周辺の住宅被害はどの程度になるかの質問では「被害はほとんどない」と回答した人は2.4%にとどまり、「半数程度は何らかの被害を受ける」と回答した人が41.1%、「大部分の住宅で大きな被害を受ける」と回答した人が39.8%と何らかの被害があると思っている人が全体の80%になっている。

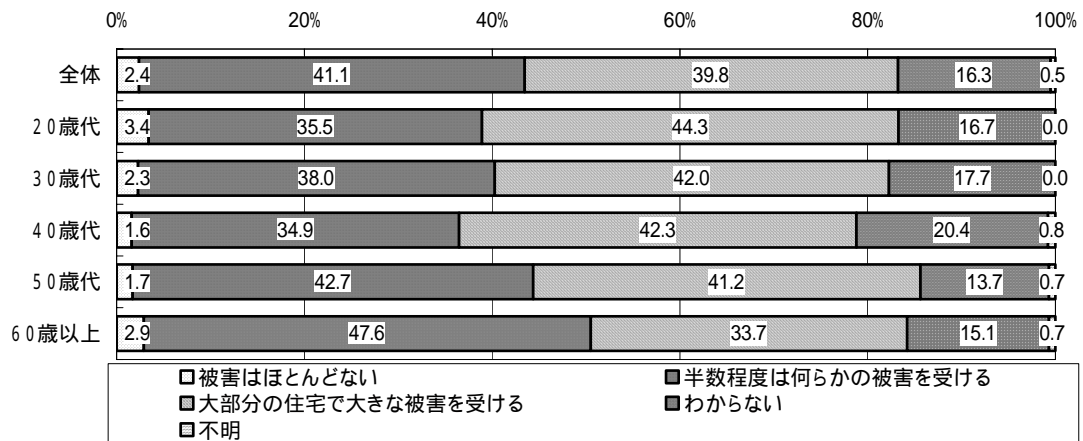
地域別でみるとどの地域も何らかの被害が出ると思っており、特に「大部分の住宅で大きな被害を受ける」と回答した人は新宮市・東牟婁郡で49.2%、田辺市・西牟婁郡で44.8%、御坊市・日高郡で42.3%、和歌山市・海南市・海草郡で41.5%とこれら4地域では4割以上の方が大きな被害を受けると思っている。

年齢別では20～40歳代では「大部分の住宅で大きな被害を受ける」と回答した人の方が多く、逆に60歳代では「半数程度は何らかの被害を受ける」と回答した人が47.6%となっており、若い年代の方が大規模地震が発生した場合、大きな被害が出ると思っている結果となった。

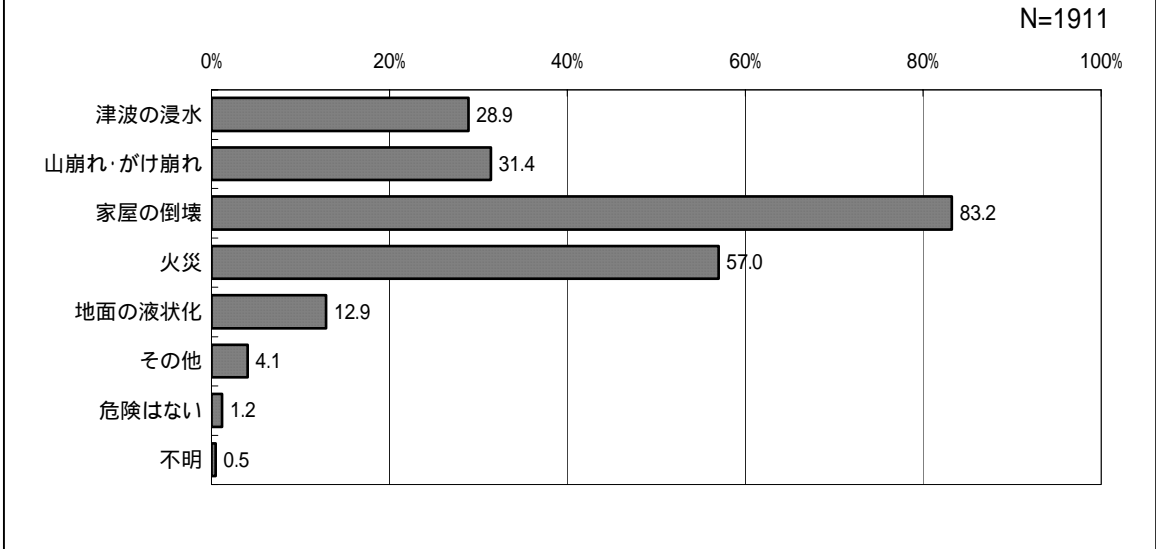
(地域別集計)



(年齢別集計)



問4 . 東南海・南海地震のような大規模地震が発生した場合、あなたが住んでいる場所はどのような危険があると思われますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。



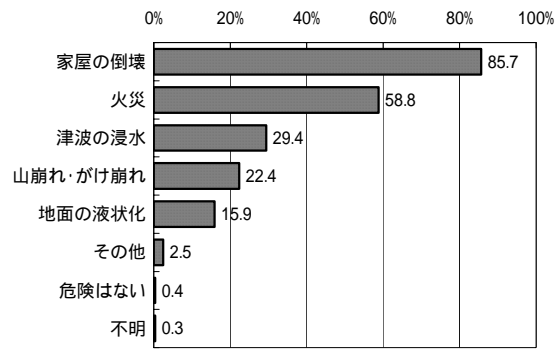
東南海・南海地震のような大規模地震が発生した場合、住んでいる場所付近でどのような危険があると思われるかでは「家屋の倒壊」が 83.2%で最も高く、以下「火災」(57.0%)、「山崩れ・がけ崩れ」(31.4%)、「津波の浸水」(28.9%)、「地面の液状化」(12.9%)となっている。

地域別でみると各地域とも「家屋の倒壊」が最も高く、次に「火災」が 50%以上を占めている。また、橋本市・伊都郡は「山崩れ・がけ崩れ」が 59.5%と他の地域に比べて高くなっている。「津波の浸水」は那賀郡や橋本市・伊都郡の内陸部は低く、沿岸部特に新宮市・東牟婁郡(53.1%)や田辺市・西牟婁郡(43.0%)では高くなっている。

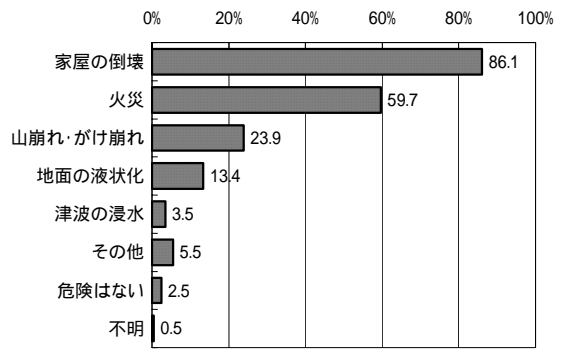
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
和歌山市・海南市・ 海草郡	家屋の倒壊 (85.7%)	火災 (58.8%)	津波の浸水 (29.4%)	山崩れ・ がけ崩れ (22.4%)	地面の 液状化 (15.9%)
那賀郡	家屋の倒壊 (86.1%)	火災 (59.7%)	山崩れ・ がけ崩れ (23.9%)	地面の 液状化 (13.4%)	津波の浸水 (3.5%)
橋本市・伊都郡	家屋の倒壊 (83.3%)	山崩れ・ がけ崩れ (59.5%)	火災 (56.2%)	地面の 液状化 (7.1%)	津波の浸水 (1.4%)
有田市・有田郡	家屋の倒壊 (78.9%)	火災 (55.9%)	津波の浸水 (36.8%)	山崩れ・ がけ崩れ (23.7%)	地面の 液状化 (16.4%)
御坊市・日高郡	家屋の倒壊 (80.9%)	火災 (58.2%)	山崩れ・ がけ崩れ (38.7%)	津波の浸水 (38.1%)	地面の 液状化 (9.8%)
田辺市・西牟婁郡	家屋の倒壊 (83.0%)	火災 (52.6%)	津波の浸水 (43.0%)	山崩れ・ がけ崩れ (37.4%)	地面の 液状化 (10.4%)
新宮市・東牟婁郡	家屋の倒壊 (81.4%)	火災 (57.1%)	津波の浸水 (53.1%)	山崩れ・ がけ崩れ (38.4%)	地面の 液状化 (11.3%)

〔地域別集計〕

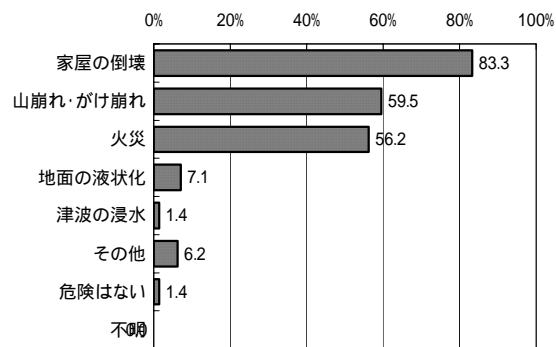
〔和歌山市・海南市・海草郡〕



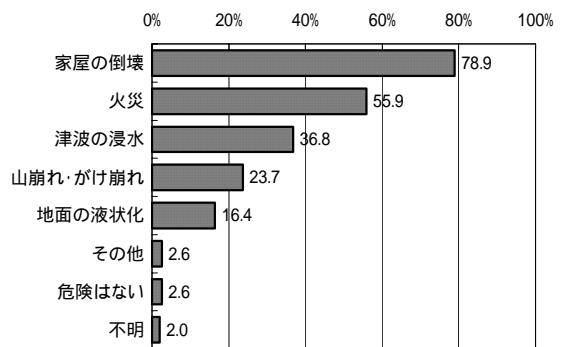
〔那賀郡〕



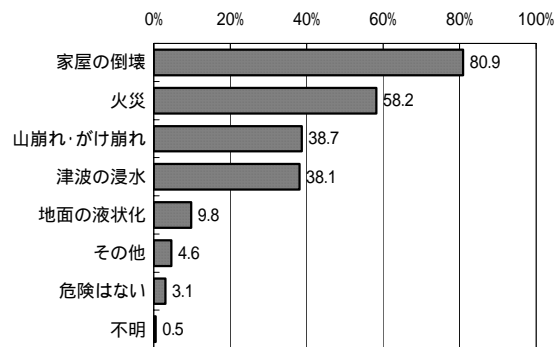
〔橋本市・伊都郡〕



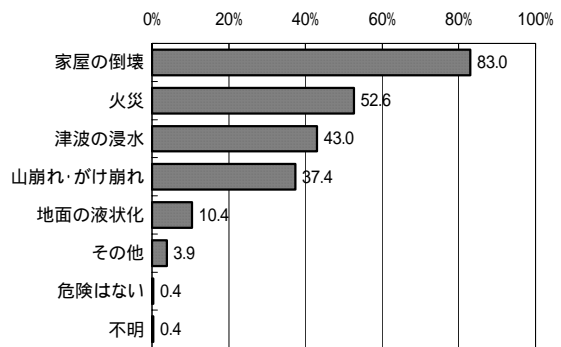
〔有田市・有田郡〕



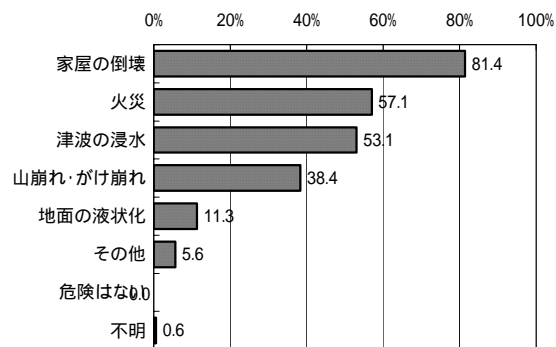
〔御坊市・日高郡〕



〔田辺市・西牟婁郡〕

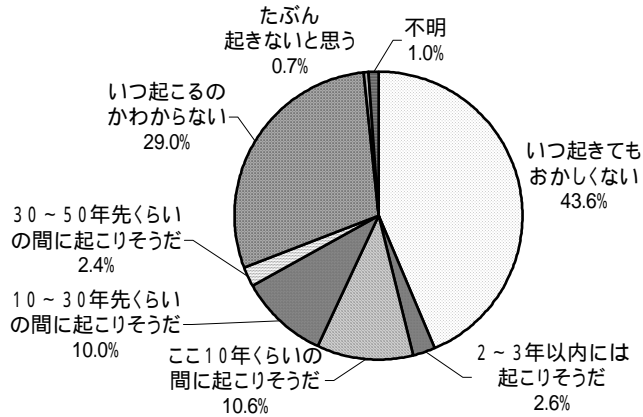


〔新宮市・東牟婁郡〕



問5 . 東南海・南海地震の今後30年以内の発生確率は40%～50%とされていますが、このことに関してどう思われますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

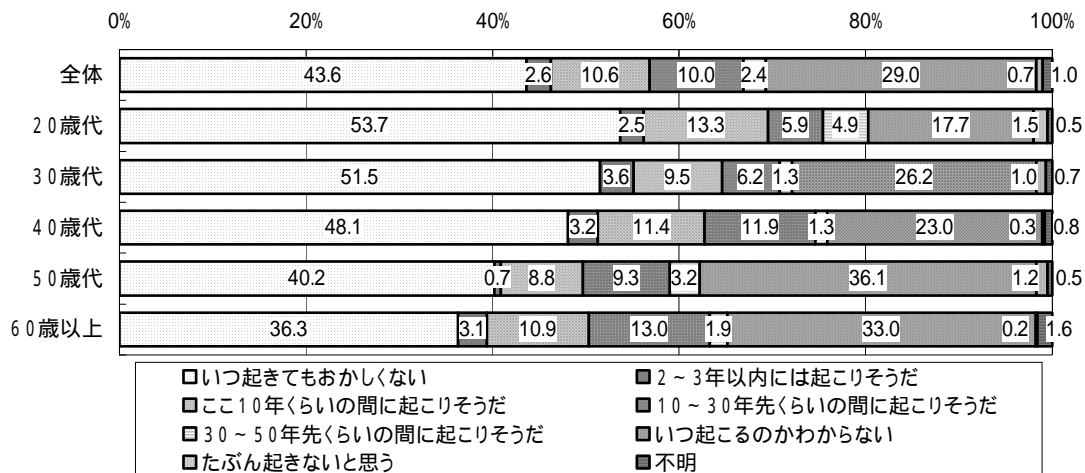
N=1911



東南海・南海地震がいつ発生するかの質問に「たぶん起きないと思う」の回答は0.7%に過ぎず、県民のほとんどは将来、東南海・南海地震が起きるとしている結果となった。また、「いつ起きてもおかしくない」と回答した人が43.6%と最も多く、次に「いつ起こるのかわからない」が29.0%となっている。

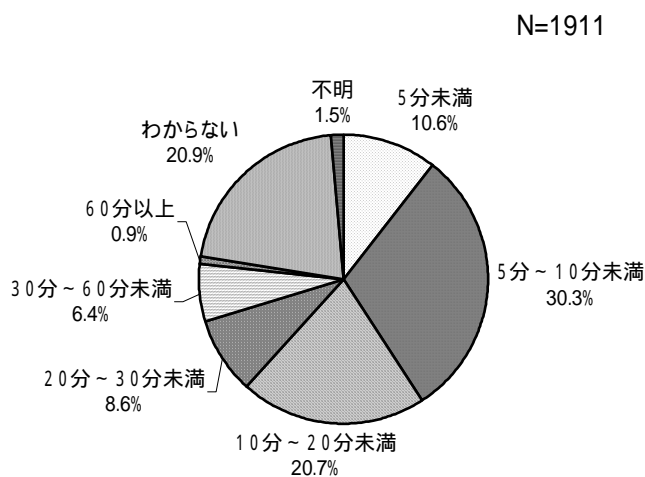
年齢別でみると「いつ起きてもおかしくない」と回答した人は20歳代で53.7%、30歳代で51.5%に対して60歳以上では36.3%と若い世代ほど近い将来起きる可能性が高いと思っている。

(年齢別集計)



【2. 津波避難について、おたずねします】

問6. 東南海・南海地震が発生した場合、津波が起こると想定されますが、和歌山県内に最も早く到達する時間は地震発生後どれくらいと思われますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

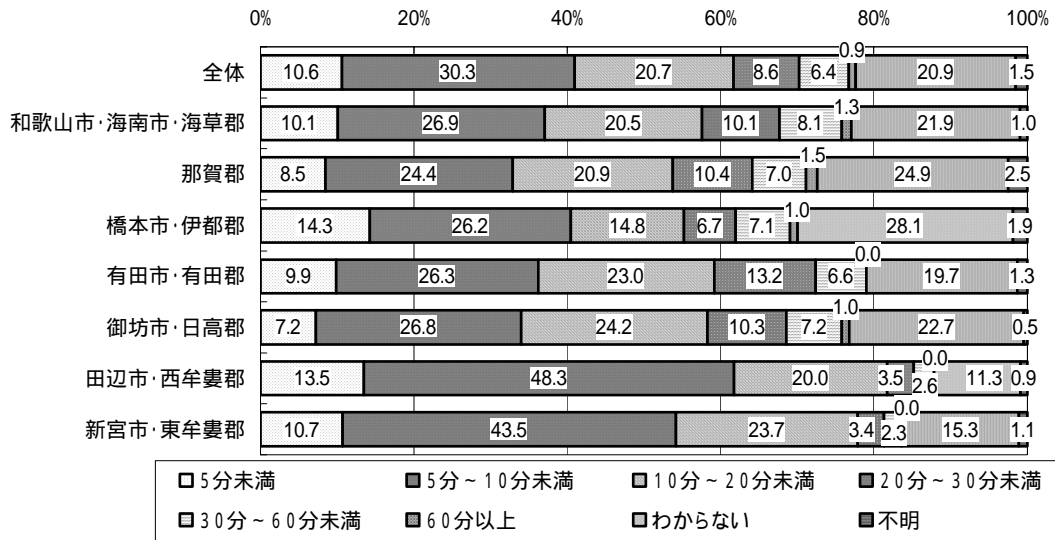


東南海・南海地震が発生して、津波が起こった場合、和歌山県内に最も早く到達する時間は地震発生後どれくらいかでは「5分～10分未満」が30.3%と最も高く、次に「10分～20分未満」が20.7%となっており、60%以上の方が地震発生後「20分未満」で津波が到達すると回答している。また、「わからない」が20.9%となっている。

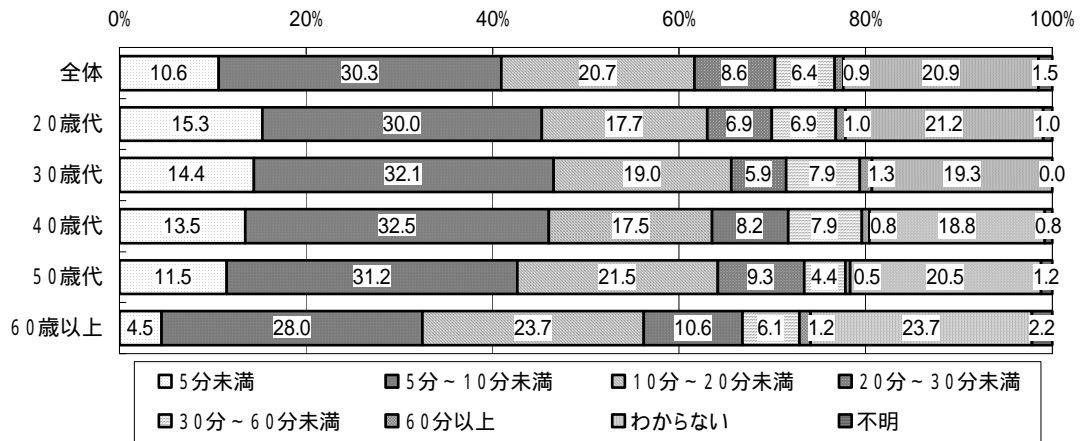
地域別でみると田辺市・西牟婁郡では「10分未満」の回答が61.8%、新宮市・東牟婁郡では54.2%と他の地域に比べて津波の到達時間が早いと感じている。

年齢別では大きな差は見られないが、津波の到達時間が「10分未満」と回答した人は若い世代の方が多くなっている。

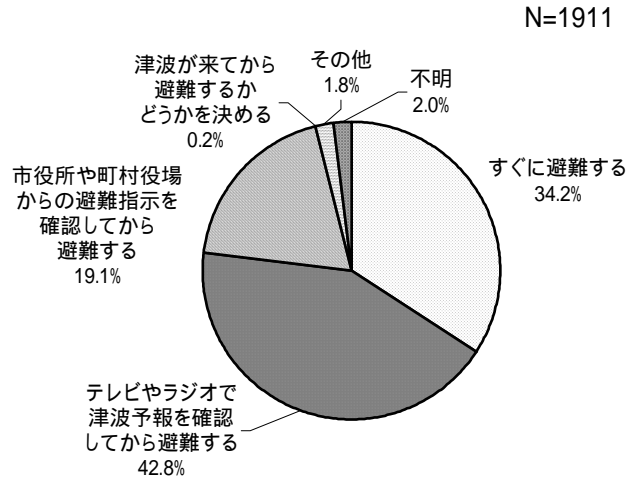
(地域別集計)



(年齢別集計)



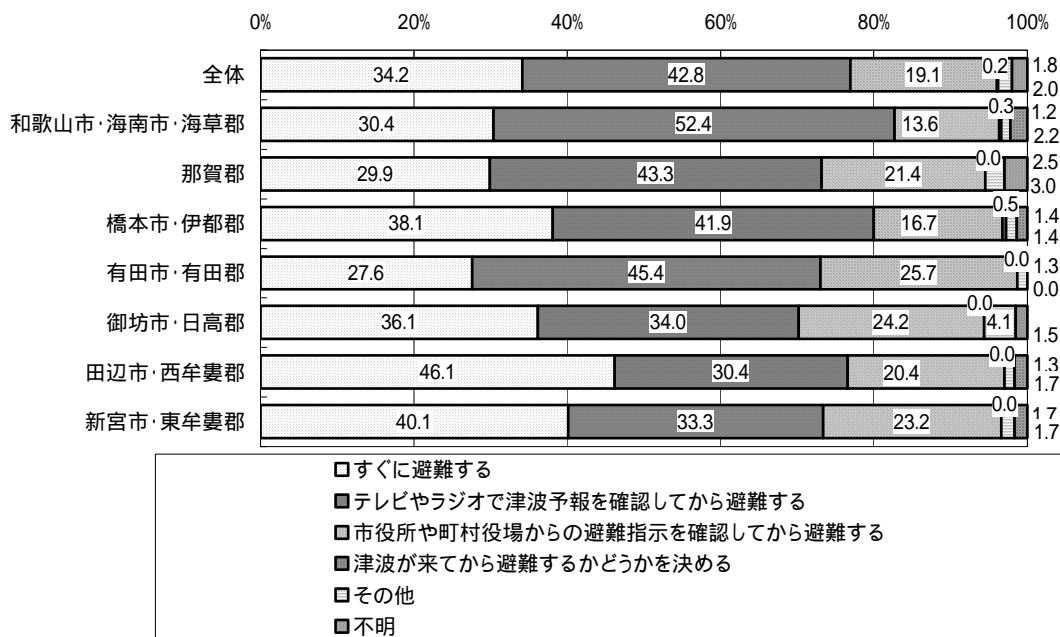
問7. あなたが津波被害のおそれがある沿岸地域で居住または宿泊していると仮定した場合、強い地震を感じたとき、または弱い地震でも長い時間ゆっくりした揺れを感じたとき、あなたはどのような行動を取りますか。あてはまる番号に1だけ○をつけてください。



強い地震を感じたとき、または弱い地震でも長い時間ゆっくりした揺れを感じたとき、あなたはどのような行動を取るかでは「テレビやラジオで津波予報を確認してから避難する」が42.8%で最も高く、次に「すぐに避難する」が34.2%、「市役所や町村役場からの避難指示を確認してから避難する」が19.1%となっている。

地域別でみると田辺市・西牟婁郡及び新宮市・東牟婁郡では「すぐに避難する」がそれぞれ46.1%、40.1%と他の地域に比べて高く、その他の地域では「テレビやラジオで津波予報を確認してから避難する」が高くなっている。

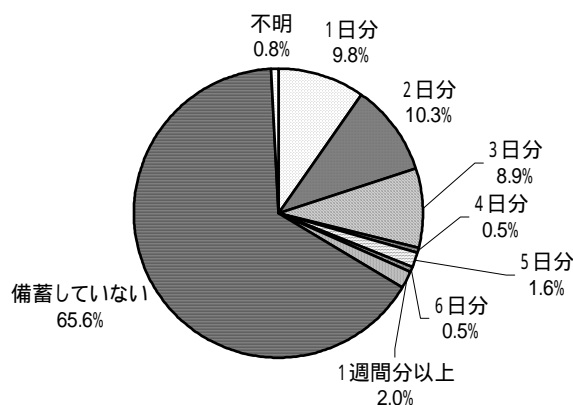
(地域別集計)



【3. 日頃の防災対策について、おたずねします】

問8. 非常持ち出し用の食料は、最低でも3日分を備えるように言われていますが、お宅では地震に備えて非常持ち出し用の食料を何日分備蓄されていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

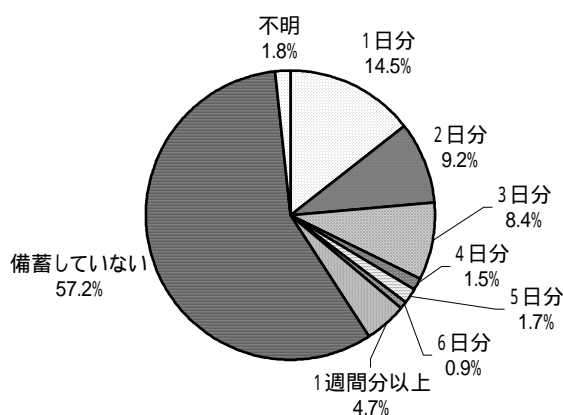
N=1911



地震に備えて非常持ち出し用の食料を何日分備蓄しているかでは「備蓄していない」が65.6%を占めている。備蓄している人では「2日分」が10.3%で最も高くなっている。

問9. お宅では、ご家族1人1日あたり3リットルの飲料水が必要だとすると、何日分の飲料水を備蓄されていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N=1911

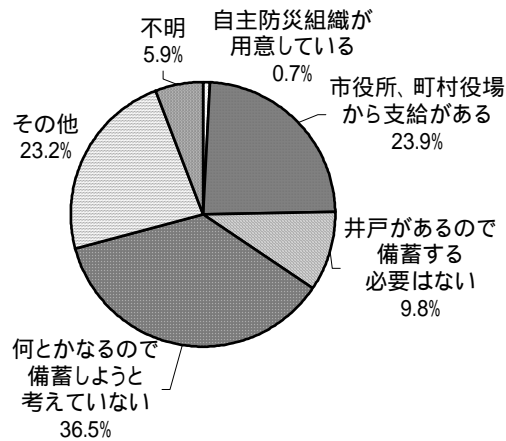


飲料水の備蓄では「備蓄していない」が57.2%で食料と同様に備蓄率は悪い。備蓄している人では「1日分」が14.5%で最も高くなっている。

《問9. で、8. 「備蓄していない」を選んだ方のみお答えください。》

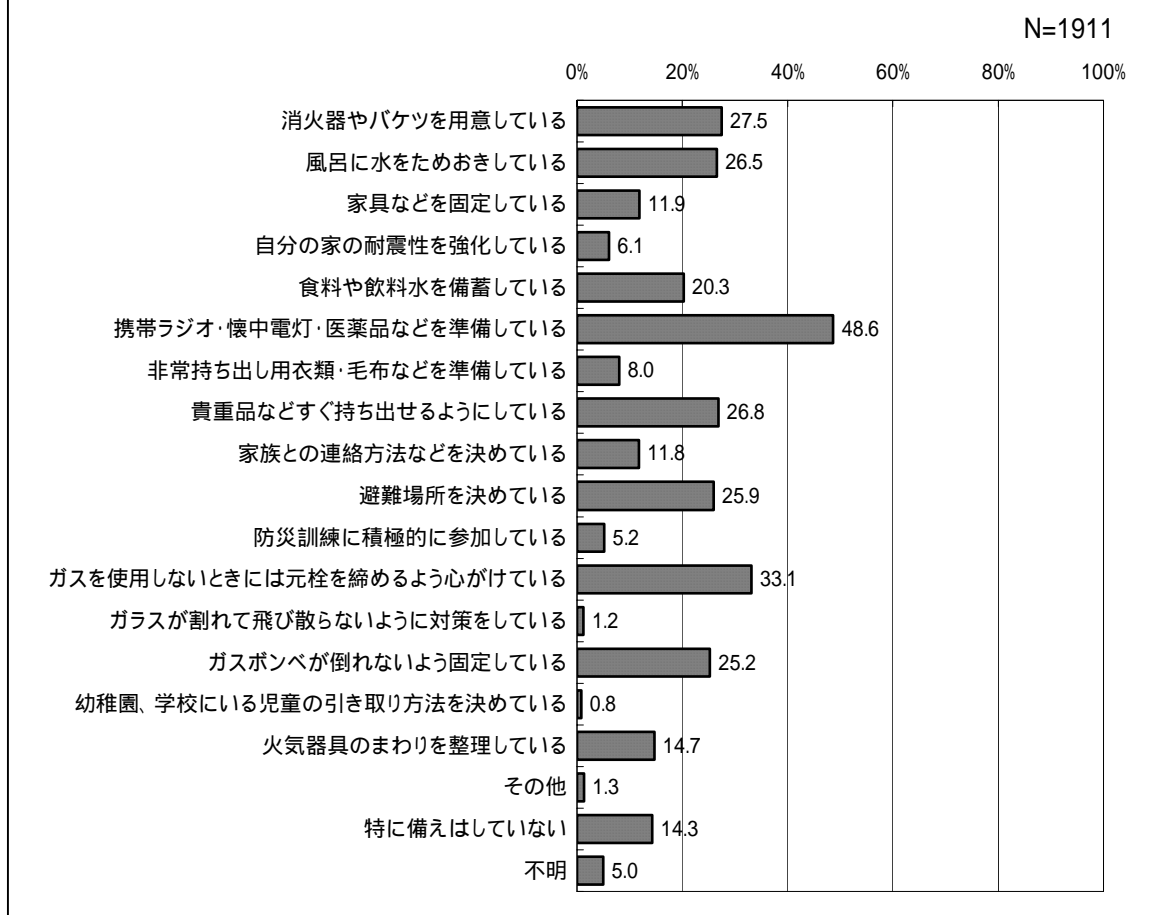
問9 - 1 . 東南海・南海地震のような大規模地震が発生した場合、飲料水はどのように確保されますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N=1094



問9で「飲料水を備蓄していない」と回答した人に飲料水の確保方法を聞いたところ「何とかなるので備蓄しようと考えていない」と回答した人が36.5%を占めている。次に「市役所、町村役場から支給がある」が23.9%、「井戸があるので備蓄する必要はない」が9.8%となっている。

問10. 東南海・南海地震のような大規模地震が発生した場合に備えて、どのような対策をされていますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

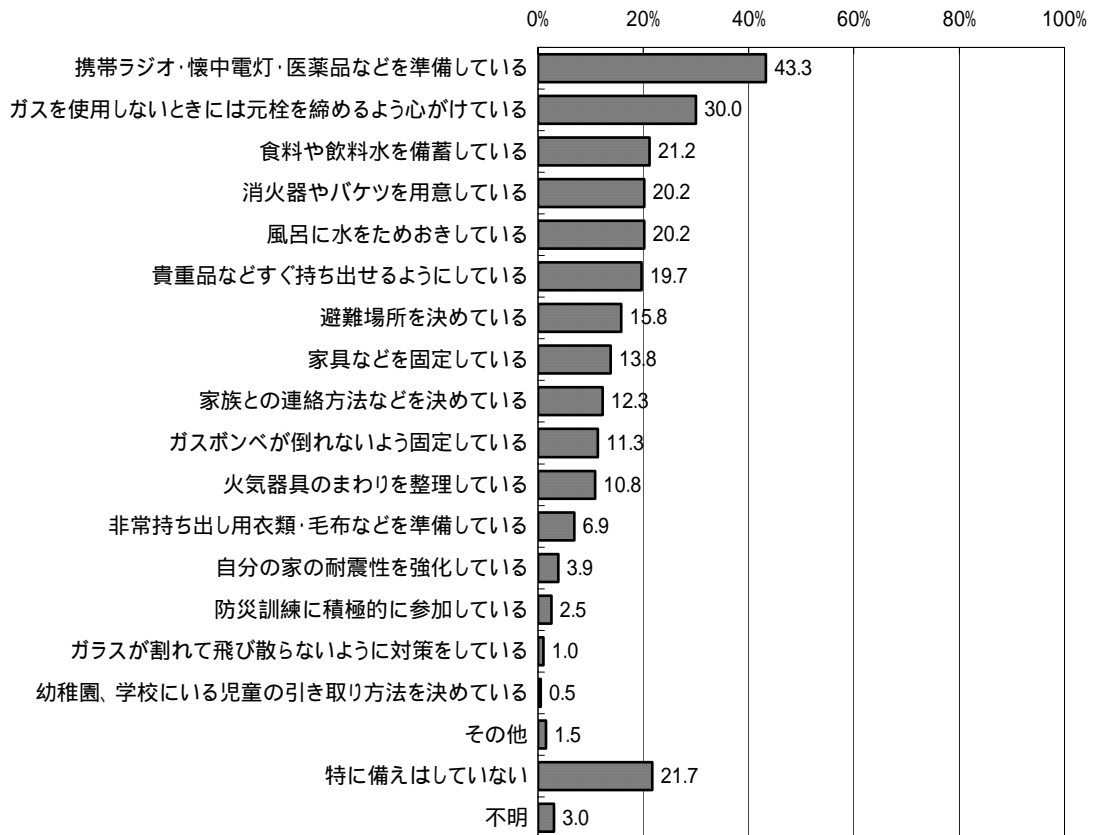


大規模地震が発生した場合に備えての対策としては「携帯ラジオ・懐中電灯・医薬品などを準備している」が48.6%と半数近くを占めており、次に「ガスを使用しないときには元栓を締めるよう心がけている」が33.1%となっている。また、「特に備えはしていない」は14.3%である。

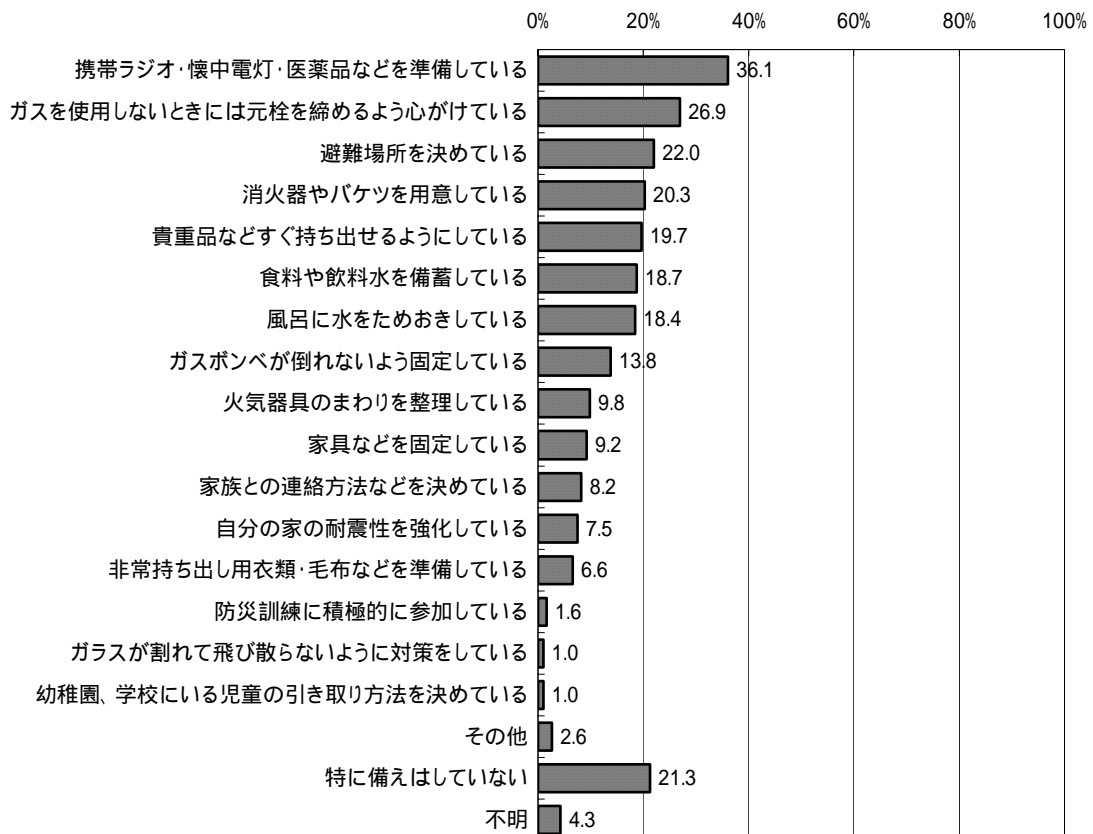
年齢別でみると「特に備えはしていない」と回答した人は60歳以上で7.3%に対して20～30歳代では20%を超えており、年齢が高いほど何らかの対策を取っている人の割合が高くなっている。

[年齢別集計]

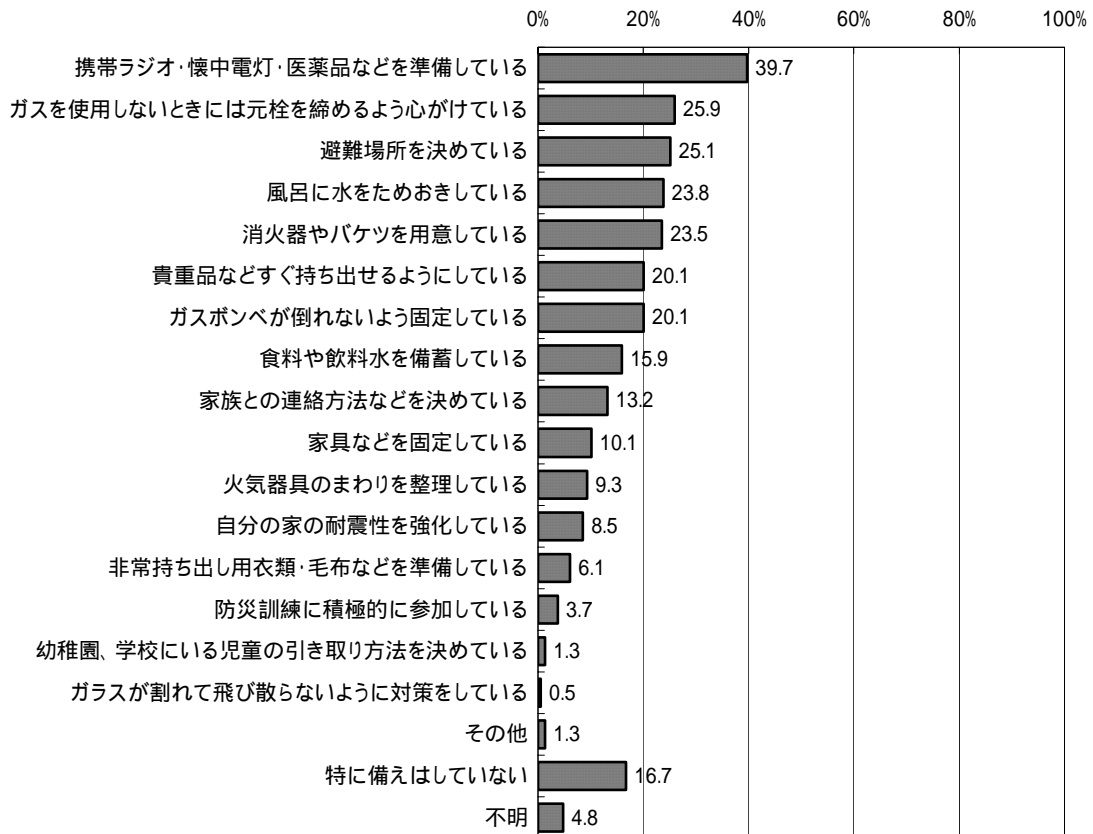
[20歳代]



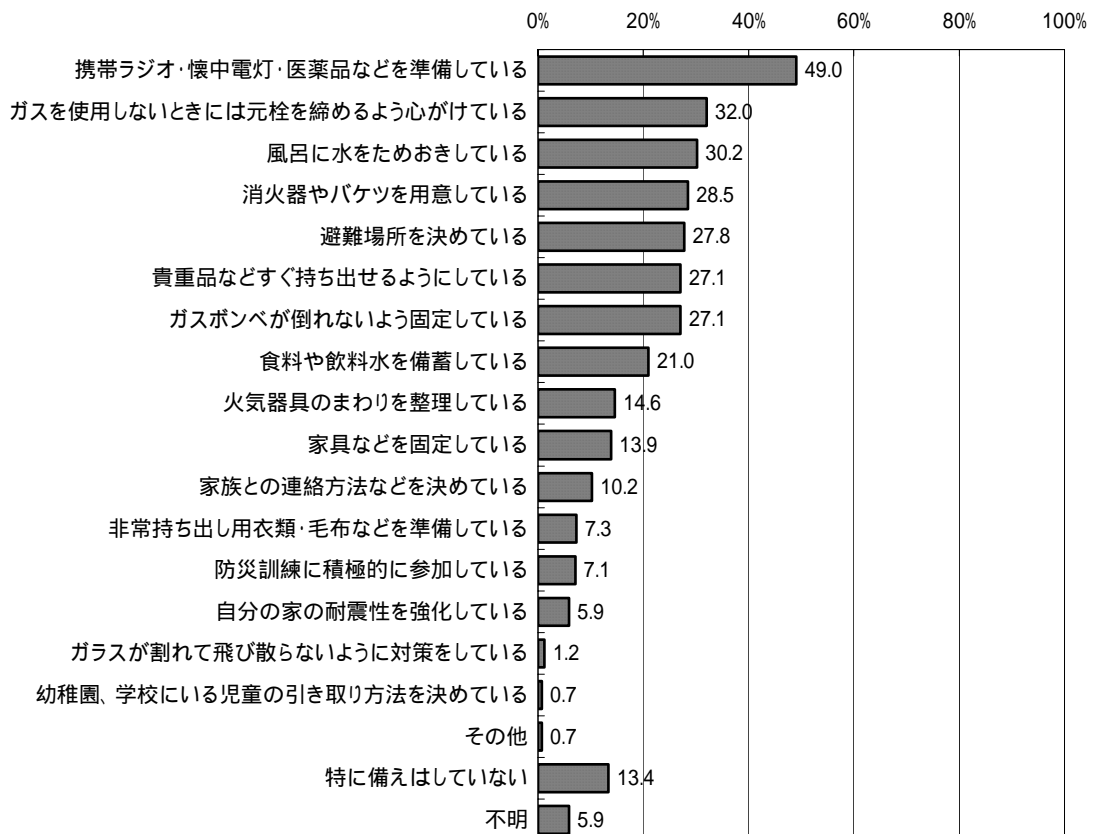
[30歳代]



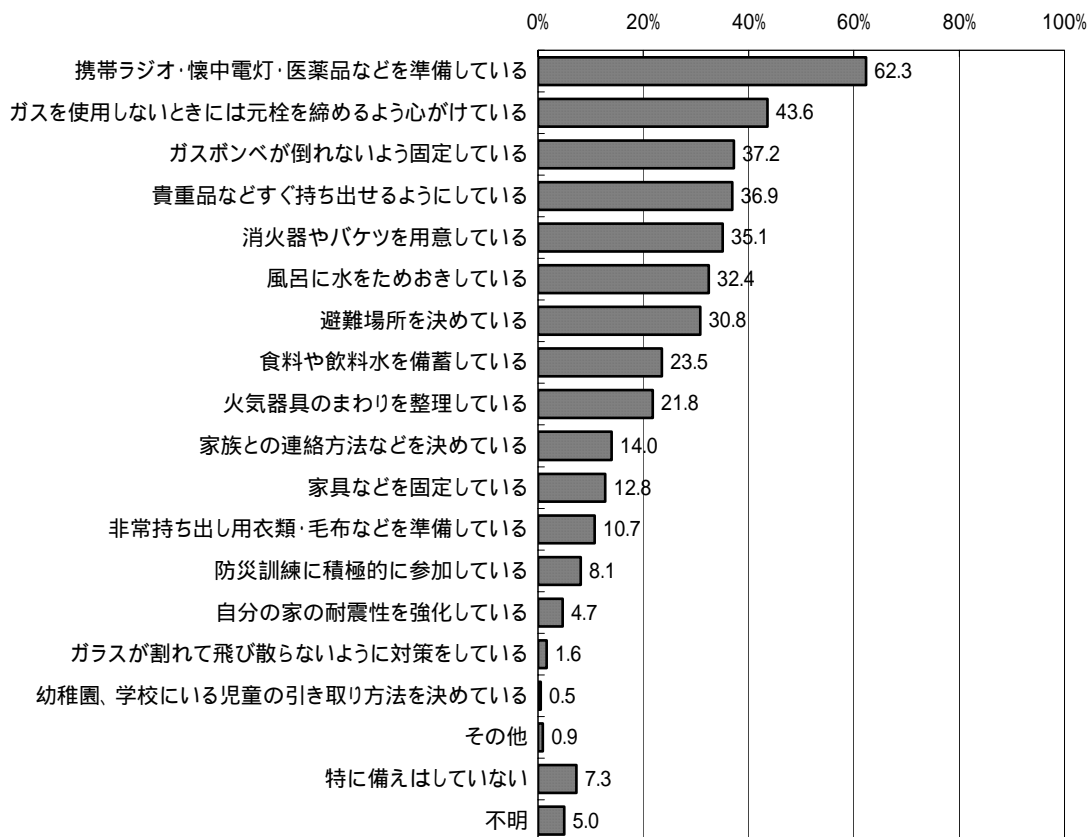
【40歳代】



【50歳代】



【60歳以上】

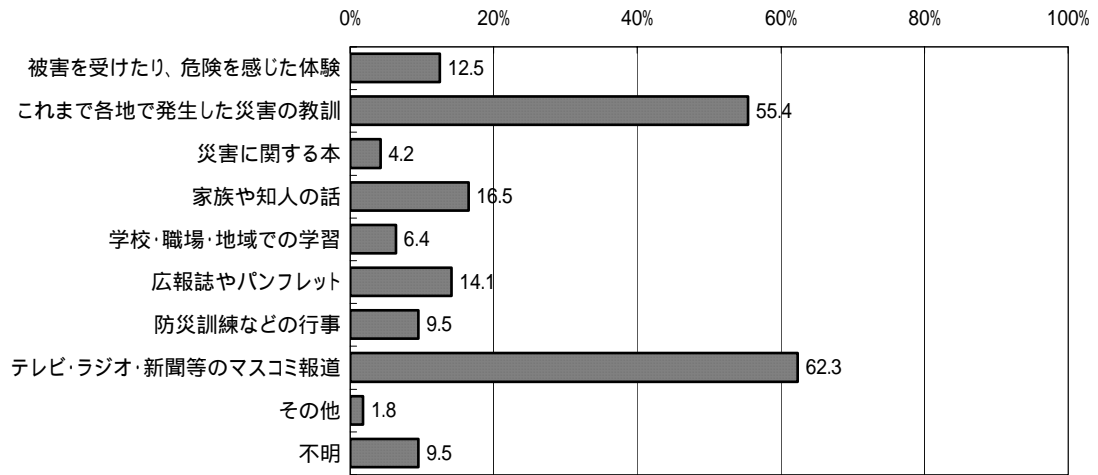


《問10.で、1～17.を選んだ方のみお答えください。》

「消火器やバケツを用意している」～「その他」のうちでいずれかに を付けた方
問10-1. 対策を取るきっかけとなったことは、次のどれにあたりますか。

あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

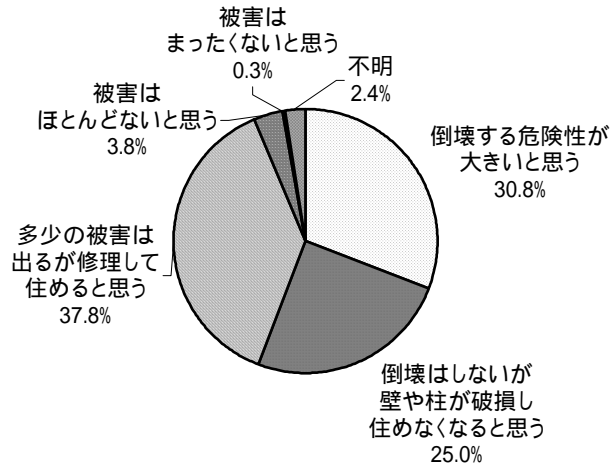
N=1542



地震に備える対策を取ったきっかけとしては「テレビ・ラジオ・新聞等のマスコミ報道」が62.3%、「これまで各地で発生した災害の教訓」が55.4%とこの2つのきっかけが大きい結果となっている。

【4. 住まいの地震対策について、おたずねします】

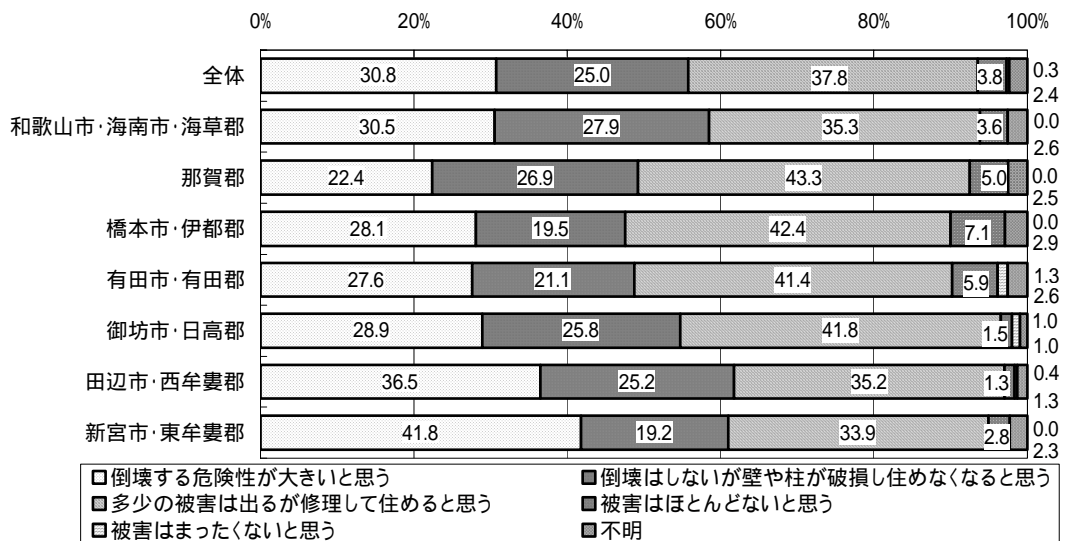
問11. あなたがお住まいの建物は、大規模地震が発生した場合、どの程度の被害があると思われますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
N=1911



大規模地震が発生した場合、住まいの建物にどの程度の被害があると思うかでは「多少の被害が出るが修理して住めると思う」が37.8%で最も高く、次いで「倒壊する危険性が大きいと思う」が30.8%、「倒壊はしないが壁や柱が破損し住めなくなると思う」が25.0%を占め、住まいの建物に何らかの被害があると思っている人は93.6%になっている。

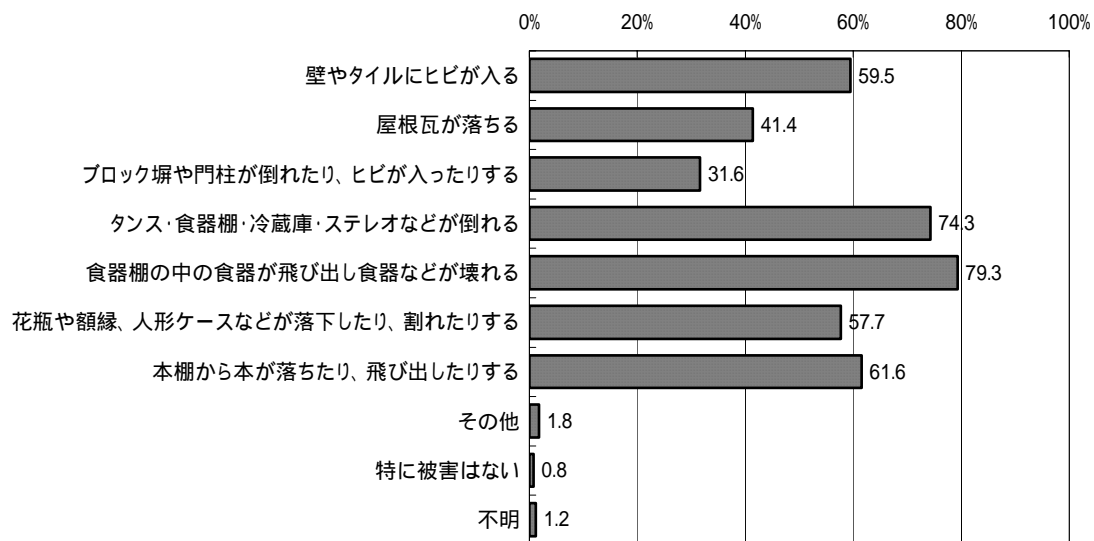
地域別では「倒壊する危険性が大きいと思う」と回答した人は新宮市・東牟婁郡で41.8%、田辺市・西牟婁郡で36.5%と他の地域より被害が大きくなると感じている。

〔地域別集計〕



問12. お宅の家の中はどのようなことと思われるか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

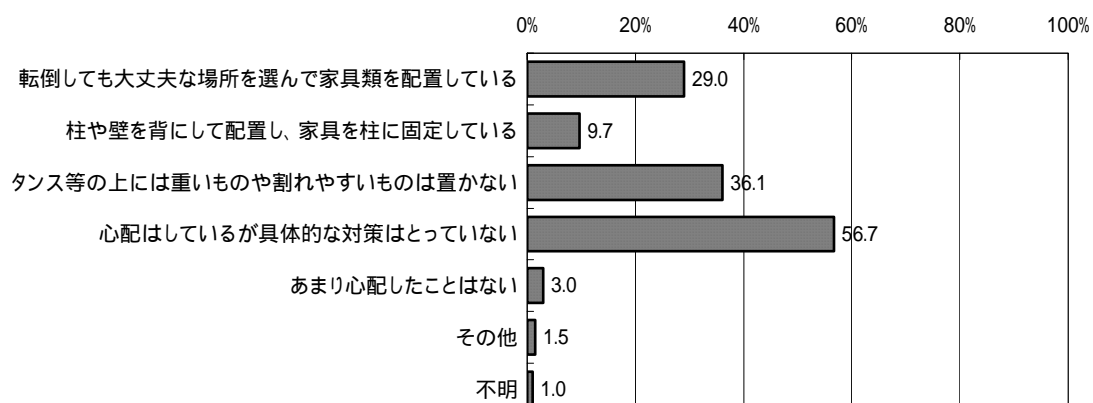
N=1911



大規模地震が発生した場合、家の中はどのようなことかでは「食器棚の中の食器が飛び出し食器などが壊れる」(79.3%)、「タンス・食器棚・冷蔵庫・ステレオなどが倒れる」(74.3%)が全体の約3/4を占めている。

問13. 大規模地震では、家具、食器棚、冷蔵庫等が転倒し非常に危険な凶器となります。家具類の転倒から住人を守るために、お宅ではどのような対策をとっていますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

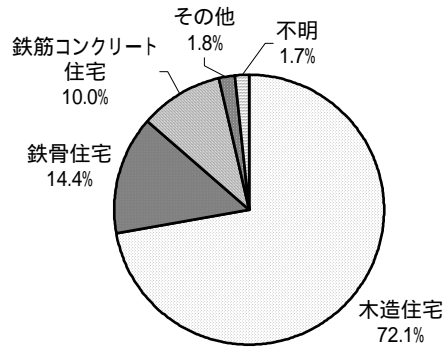
N=1911



家具類の転倒を防ぐ対策としては「心配はしているが具体的な対策はとっていない」が56.7%と半数以上を占め、「あまり心配したことはない」(3.0%)をあわせると約6割の人は対策をとっていない結果となった。また、対策をとっている人では「タンス等の上には重いものや割れやすいものは置かない」が36.1%で最も高くなっている。

問14. あなたがお住まいの家は次のどれにあたりますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

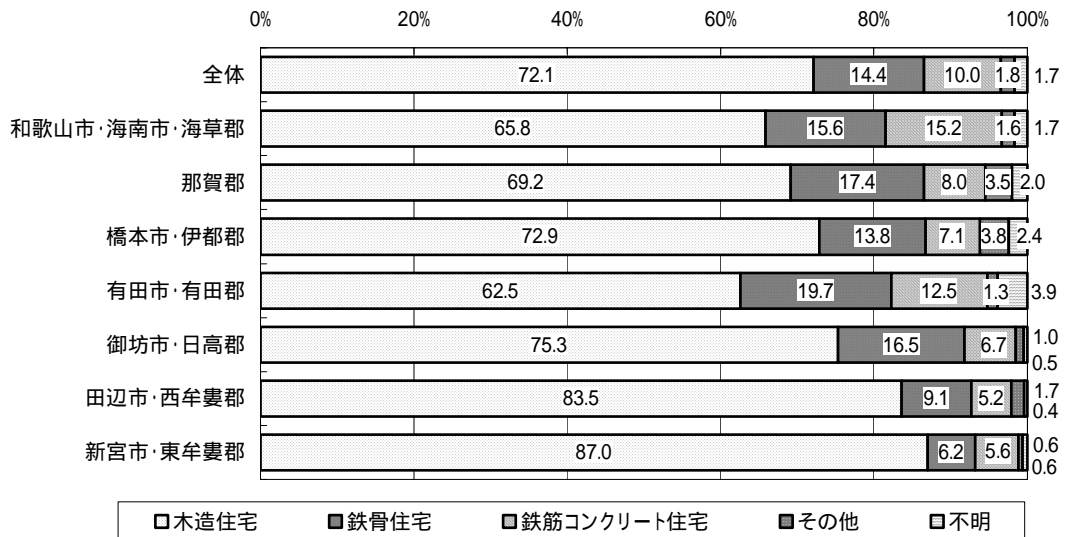
N=1911



回答者の住居の構造としては「木造住宅」が72.1%を占めており、次に「鉄骨住宅」が14.4%、「鉄筋コンクリート住宅」が10.0%となっている。

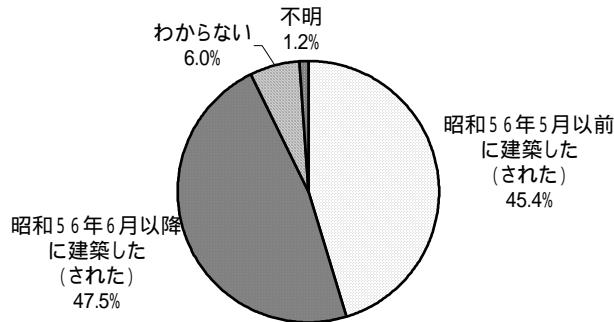
地域別でみると各地域とも「木造住宅」が多いが、有田市・有田郡で62.5%と最も低く、逆に新宮市・東牟婁郡が87.0%、田辺市・西牟婁郡が83.5%、御坊市・日高郡が75.3%と和歌山県南部の地域で「木造住宅」の割合が高くなっている。

[地域別集計]



問15.あなたのお住まいはいつ建てられたものですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

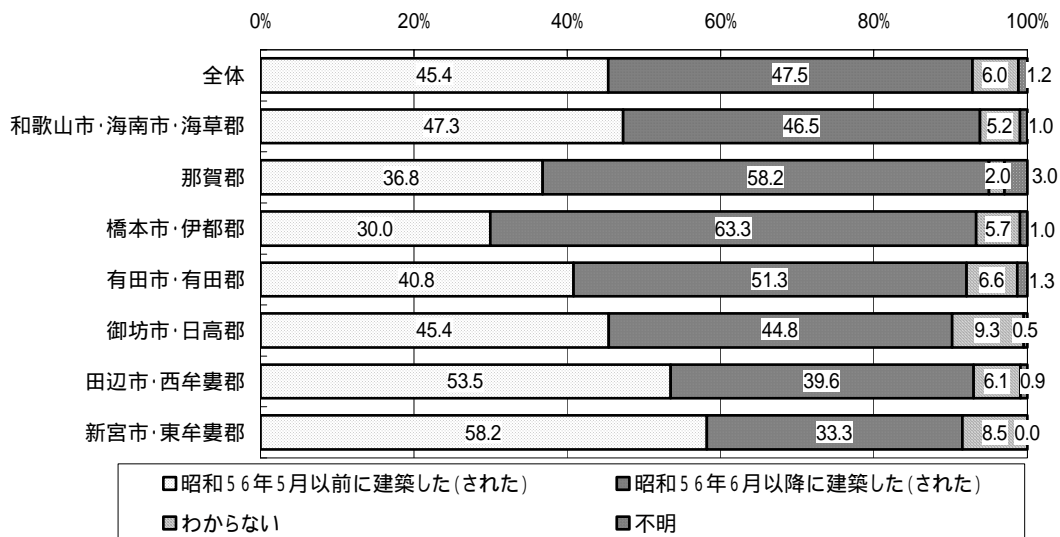
N=1911



住居の建設時期は「昭和56年6月以降に建築した(された)」が47.5%、「昭和56年5月以前に建築した(された)」が45.4%であった。

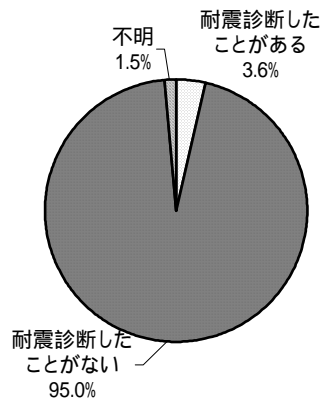
地域別では和歌山市・海南市・海草郡及び御坊市・日高郡では「昭和56年6月以降に建築した(された)」「昭和56年5月以前に建築した(された)」が同じような構成比になっているが、那賀郡、橋本市・伊都郡、有田市・有田郡では「昭和56年6月以降に建築した(された)」住居が多く、逆に新宮市・東牟婁郡及び田辺市・西牟婁郡の和歌山県南部の地域では「昭和56年5月以前に建築した(された)」住居が多くなっている。

(地域別集計)



問16. お宅では耐震診断をしたことがありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N=1911

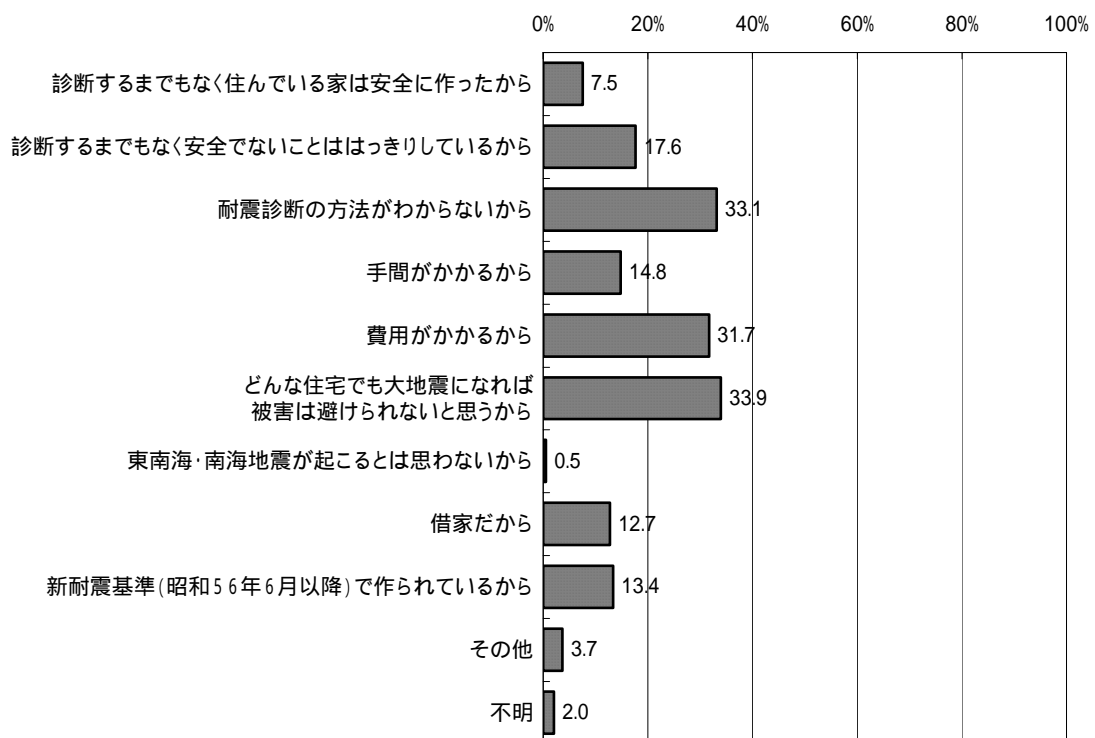


耐震診断の経験があるかでは「耐震診断したことがない」が95.0%を占めている。

《問16.で、2.「耐震診断したことがない」を選んだ方のみお答えください。》

問16-1. 耐震診断をしない理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

N=1815

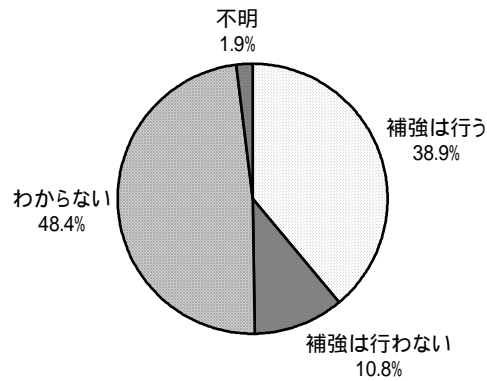


耐震診断をしない理由としては「どんな住宅でも大地震になれば被害は避けられないと思うから」(33.9%)、「耐震診断の方法がわからないから」(33.1%)、「費用がかかるから」(31.7%)が主要な理由となっている。

《全員の方にお聞きします。》

問17. 今後、あなたが、耐震診断を受けられて、その結果補強が必要となった場合、補強されますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N=1911

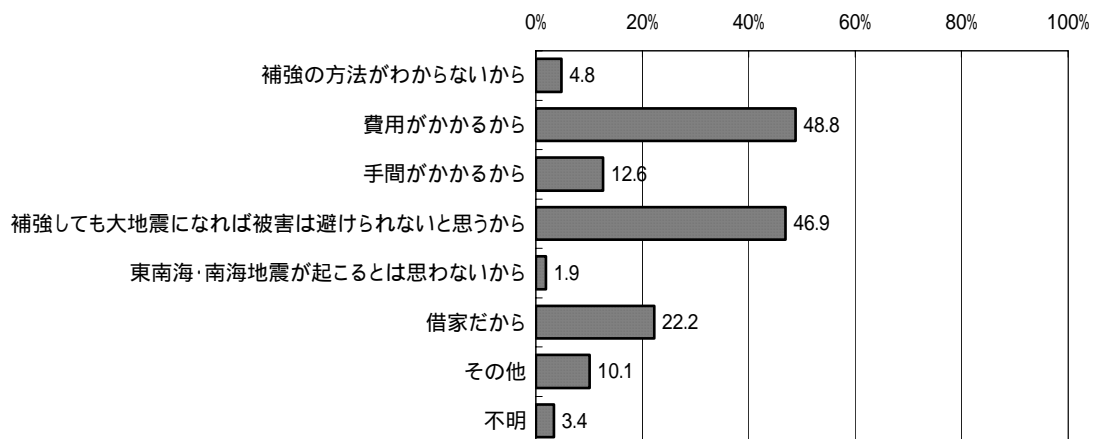


将来耐震診断を受けられて補強が必要になった場合、補強されるかという質問に対して「わからない」と回答した人が48.4%と半数近くを占め、「補強する」と回答した人は38.9%となった。

《問17.で、2.「補強は行わない」を選んだ方のみお答えください。》

問17-1. 補強を行わないと思う理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

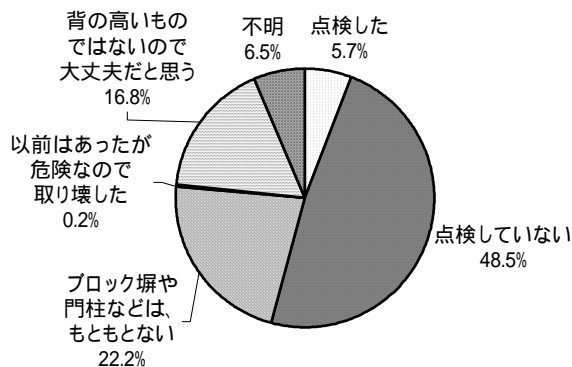
N=207



補強を行わないと思う理由としては「費用がかかるから」が48.8%、「補強しても大地震になれば被害は避けられないと思うから」が46.9%となっている。

問18. お宅ではブロック塀や門柱などの安全性について点検していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

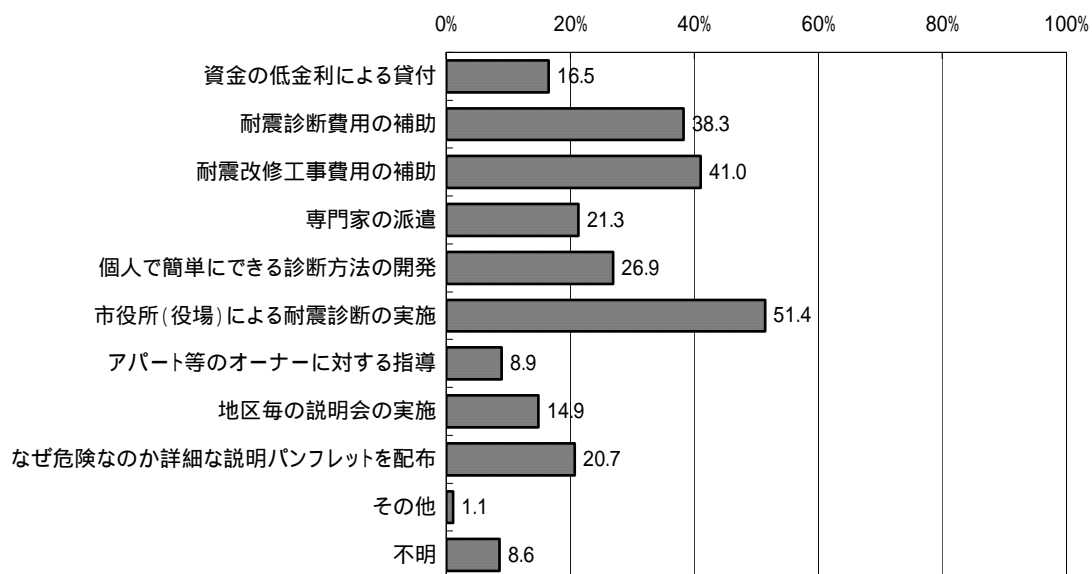
N=1911



ブロック塀や門柱などの安全性について点検しているかの質問では「点検していない」が48.5%と半数近くを占め、「点検した」は5.7%にとどまっている。

問19. 自宅の耐震強化に関して、県や市町村に対して要望することがありますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

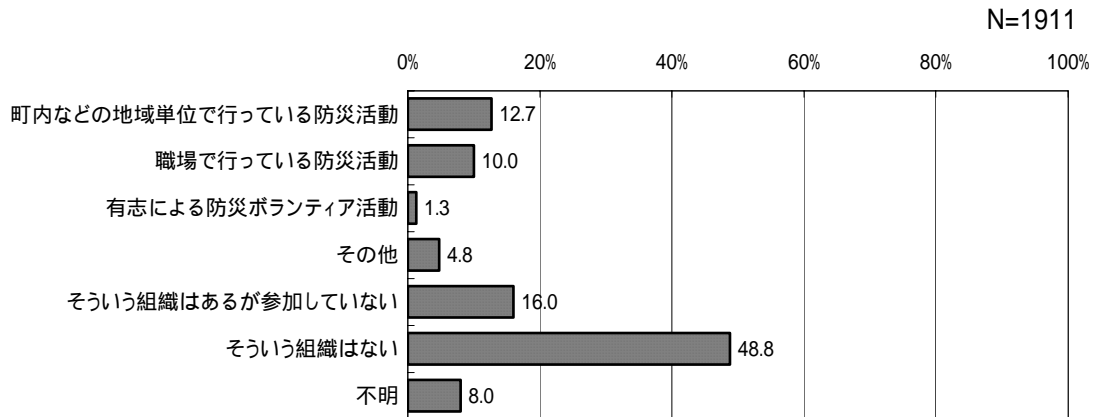
N=1911



耐震強化に関して県や市町村に対する要望としては「市役所(役場)による耐震診断の実施」が51.4%で最も高く、次に「耐震改修工事費用の補助」が41.0%、「耐震診断費用の補助」が38.3%となっており、費用面の要望が高くなっている。

【 5 . 自主防災組織・防災訓練・ボランティア活動について、おたずねします】

問 2 0 . 災害から住民を守るため、町内会や自治会などを単位として、消防団とは別に、住民などによる自主的な防災活動が行われています。あなたが現在参加している活動は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

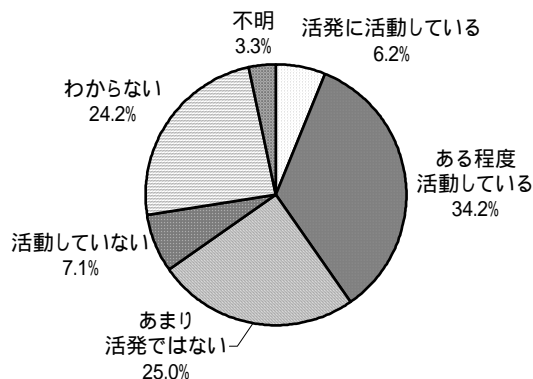


町内会や自治会などを単位とした住民などによる自主的な防災活動を行っているかでは、「そういう組織はない」が 48.8%と半数近くを占めている。何らかの活動を行っているのは全体の 28.8%で「町内などの地域単位で行っている防災活動」が 12.7%、「職場で行っている防災活動」が 10.0%となっている。

《問 2 0 . で、1 ~ 4 を選んだ方のみお答えください。》

「町内などの地域単位で行っている防災活動」～「その他」のうちでいずれかに○を付けた方

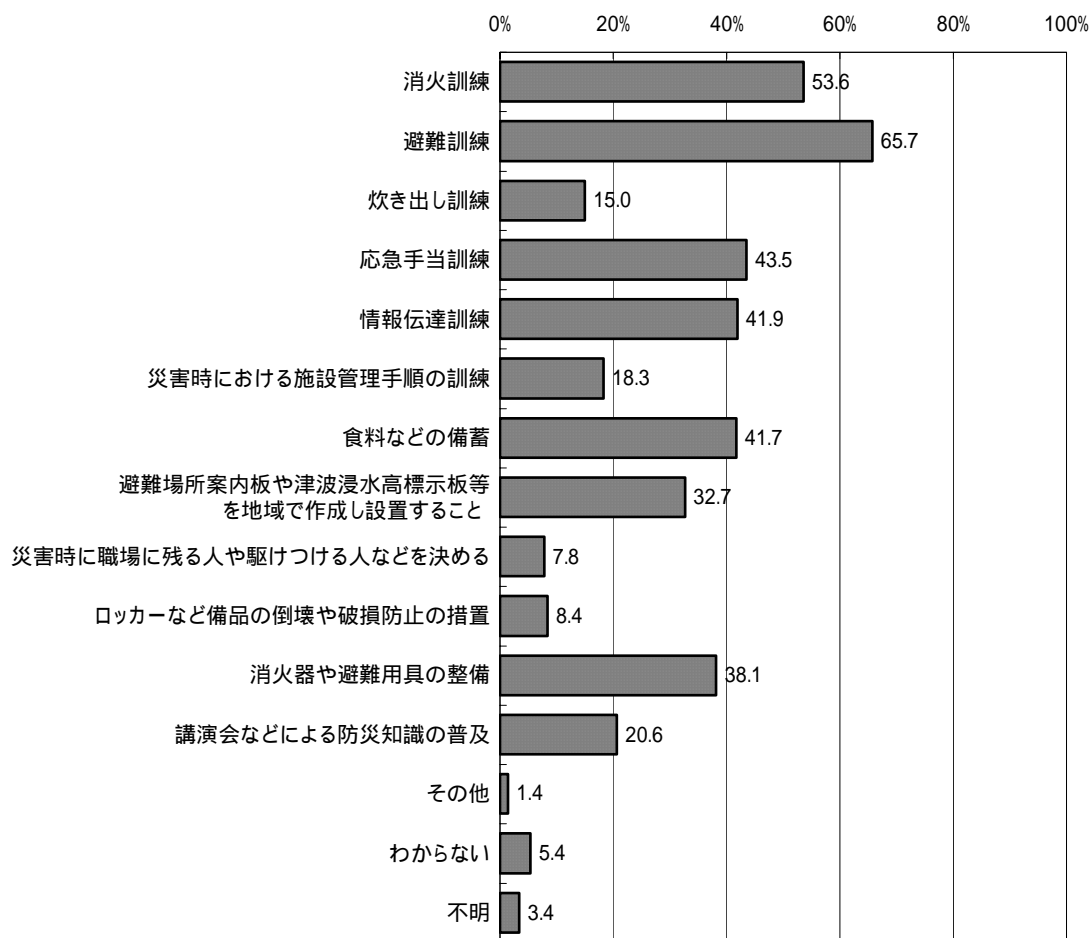
問 2 0 - 1 . あなたの地域の自主的な防災組織の活動は活発ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。 N=520



地域の防災組織の活動状況は「ある程度活動している」が 34.2%で「活発に活動している」(6.2%)をあわせると約 40%の人が活動している結果となった。

問 2 1 . 自主的な防災組織が行うべき防災活動はどんなことだと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

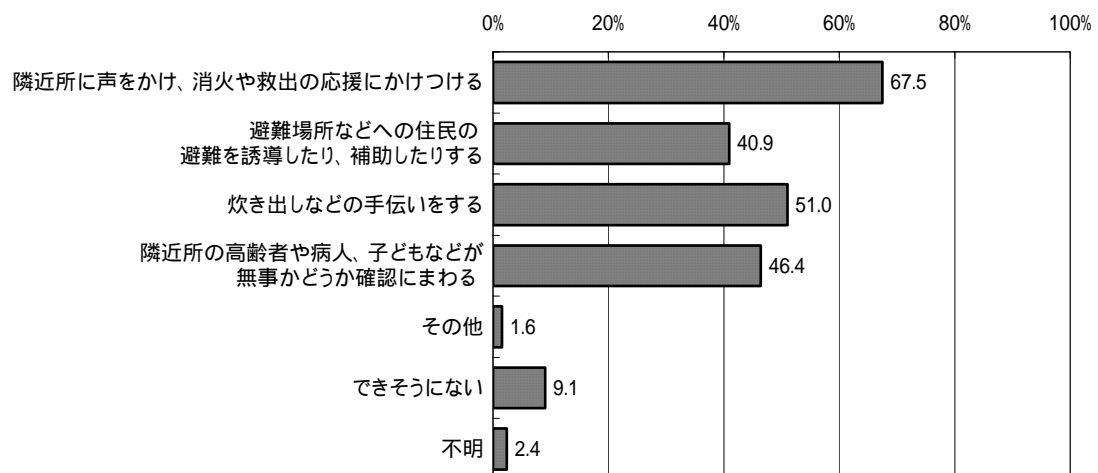
N=1911



自主的な防災組織が行うべき防災活動としては「避難訓練」が 65.7%で最も高く、次いで「消火訓練」(53.6%)、「応急手当訓練」(43.5%)、「情報伝達訓練」(41.9%)、「食料などの備蓄」(41.7%)の順となっている。

問 2 2 . 大規模地震などの大災害が起きたとき、救助などで地域内の隣近所の助け合いや協力が必要になると考えられますが、あなたは地域のためにどのようなことができそうだと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

N=1911

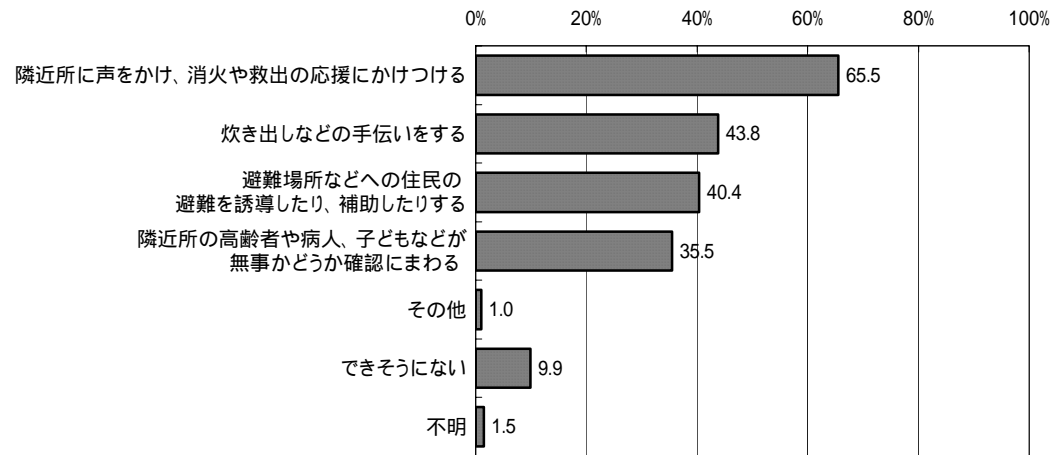


大規模地震などの大災害が起きたときに地域のためにできることとしては「隣近所に声をかけ、消火や救出の応援にかけつける」が 67.5%で最も高く、次に「炊き出しなどの手伝いをする」が 51.0%とこれら 2 項目が半数以上となっている。

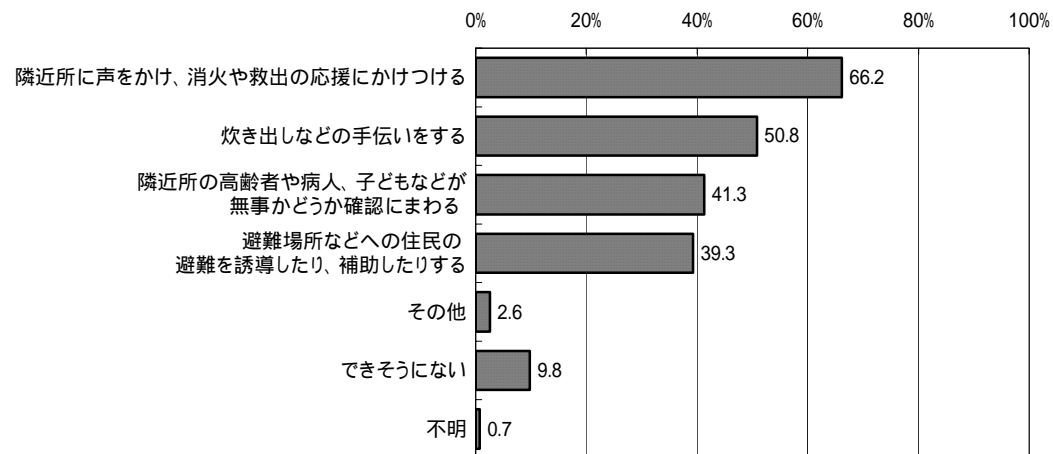
年齢別では各年代とも「隣近所に声をかけ、消火や救出の応援にかけつける」が最も高く、60%台以上となっている。

〔年齢別集計〕

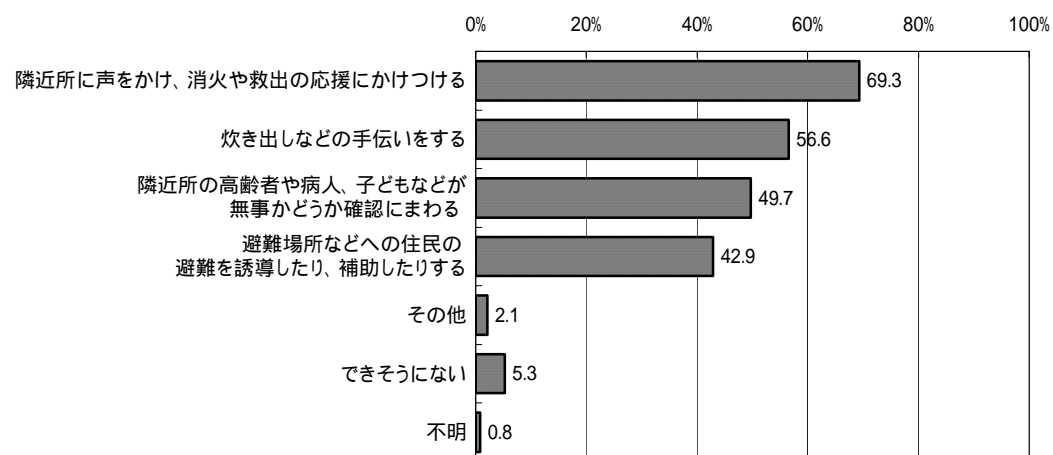
〔20歳代〕



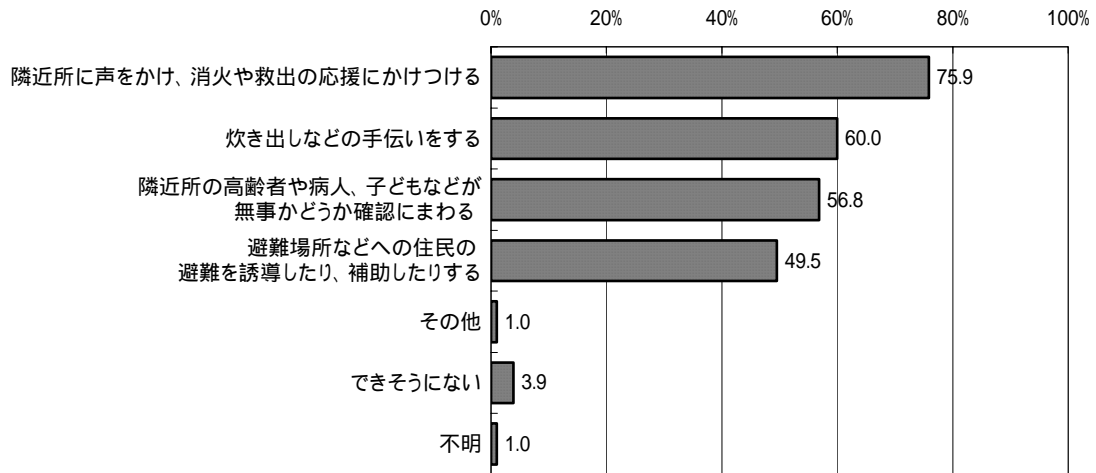
〔30歳代〕



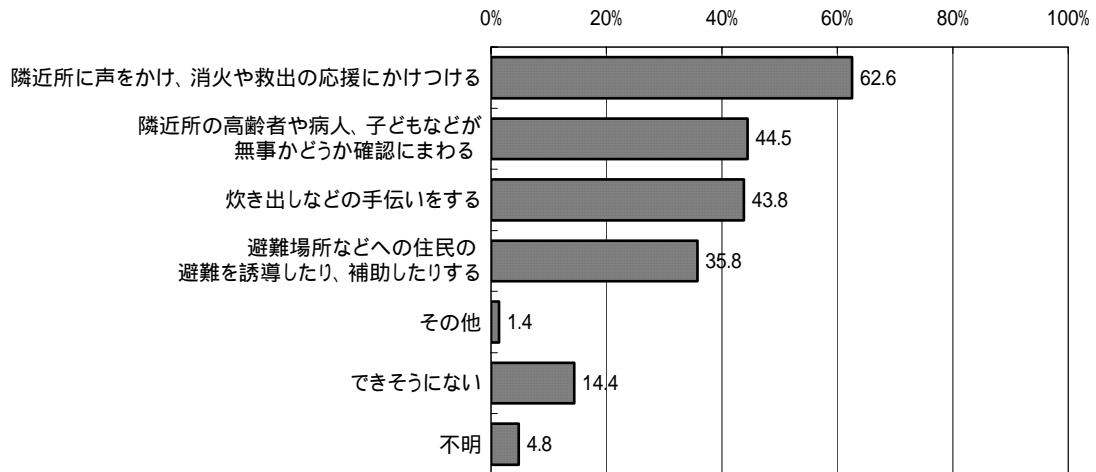
〔40歳代〕



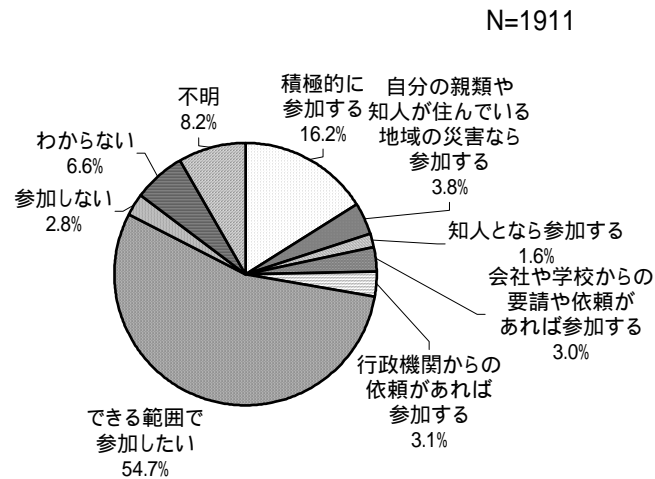
【50歳代】



【60歳以上】



問23 . 災害が発生すると救援・医療活動や復旧活動、物資の運搬や情報伝達といったさまざまな活動が必要になってきます。あなたは今住んでいる近くの地域で災害が発生したとき、このような活動にボランティアとして参加したいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

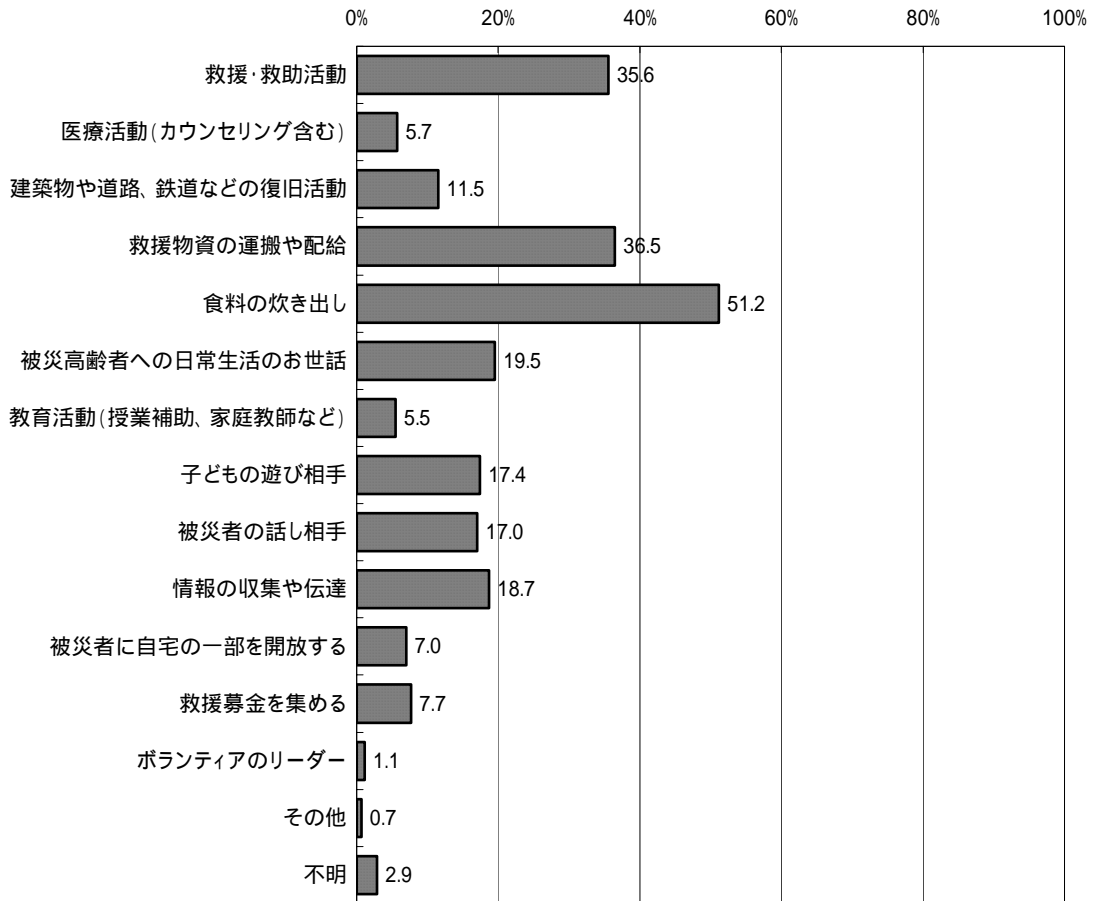


災害発生時のボランティア活動への参加意向は「できる範囲で参加したい」が54.7%で最も多く、全体でボランティア活動への参加意向率は82.4%となっており、住民のボランティア活動に対する意識は高い結果となった。

《問23.で、1～6を選んだ方のみお答えください。》

「・・・参加する」又は「できる範囲で参加したい」に を付けた方
問23-1.どのようなボランティア活動に参加したいですか。あてはまる番号にいくつ
でも○をつけてください。

N=1574



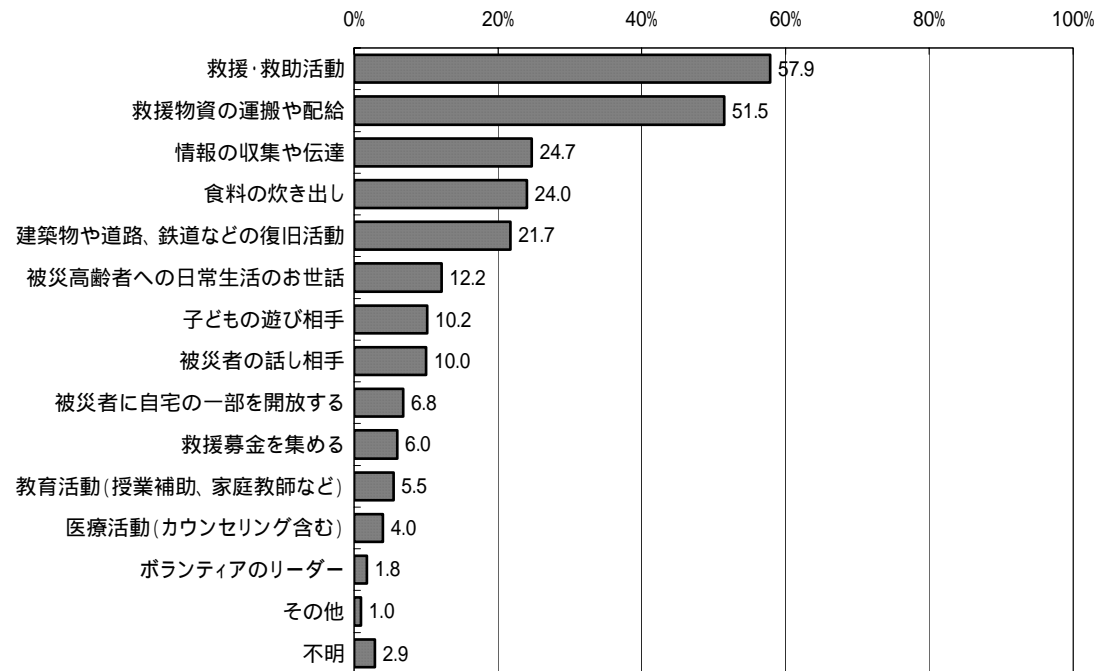
どのようなボランティア活動に参加したいかでは「食料の炊き出し」が 51.2%で最も高く、以下、「救援物資の運搬や配給」(36.5%)、「救援・救助活動」(35.6%)となっている。

男女別でみると男性は「救援・救助活動」(57.9%)、「救援物資の運搬や配給」(51.5%)の2項目が半数以上となっている。

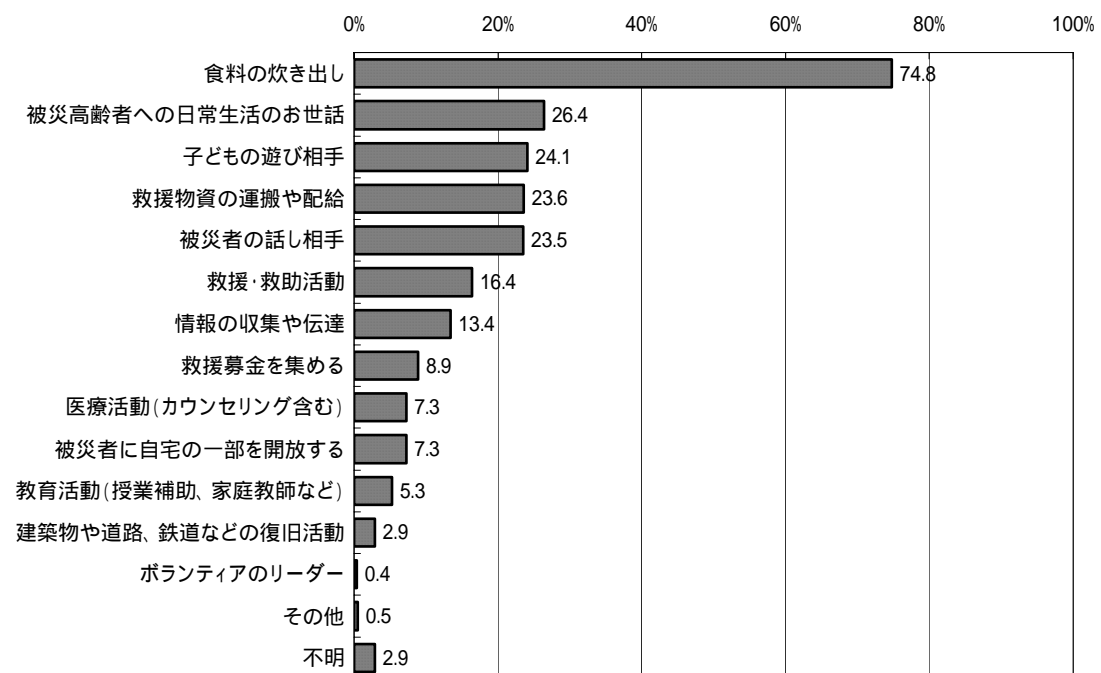
女性は「食料の炊き出し」が 74.8%と他の項目に比べて断然高くなっている。それ以外としては「被災高齢者への日常生活のお世話」(26.4%)、「子どもの遊び相手」(24.1%)が多くなっている。

(男女別集計)

【男性】

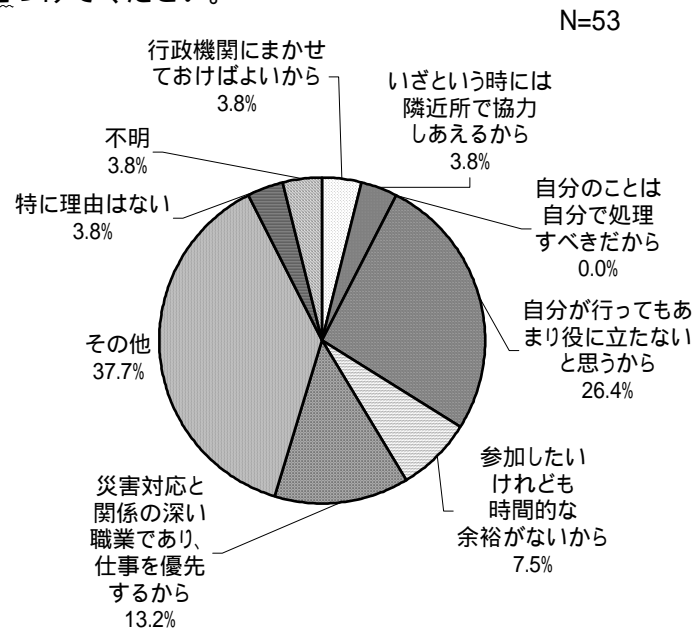


【女性】



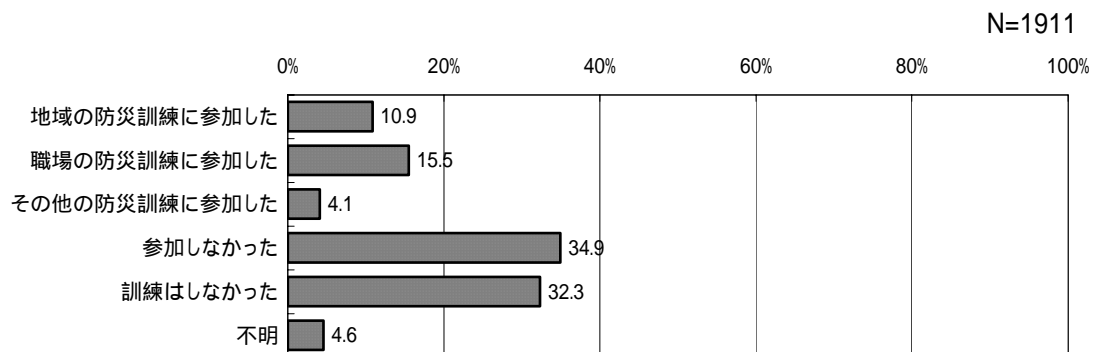
(問23で、7.【参加しない】を選んだ方のみお答えください。)

問23-2. ボランティア活動に参加しない理由は何ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



ボランティア活動に参加しない理由としては「自分が行ってもあまり役に立たないと思うから」が26.4%で最も高くなっている。

問24. あなたは過去1～2年の間に、地域や職場の地震防災訓練に参加したことがありますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

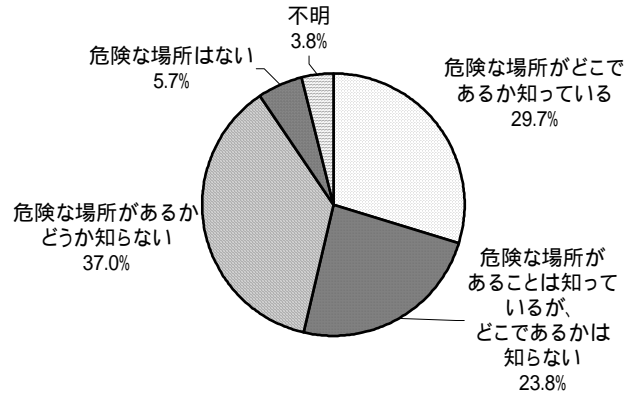


過去1～2年の間の地域や職場の地震防災訓練の参加状況は「職場の防災訓練に参加した」が15.5%、「地域の防災訓練に参加した」が10.9%であった。

【6. 防災情報・防災知識についておたずねします】

問25. あなたは、あなたのお住まいの地域で、河川の氾濫、がけ崩れ、津波など災害の危険がある場所を知っていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

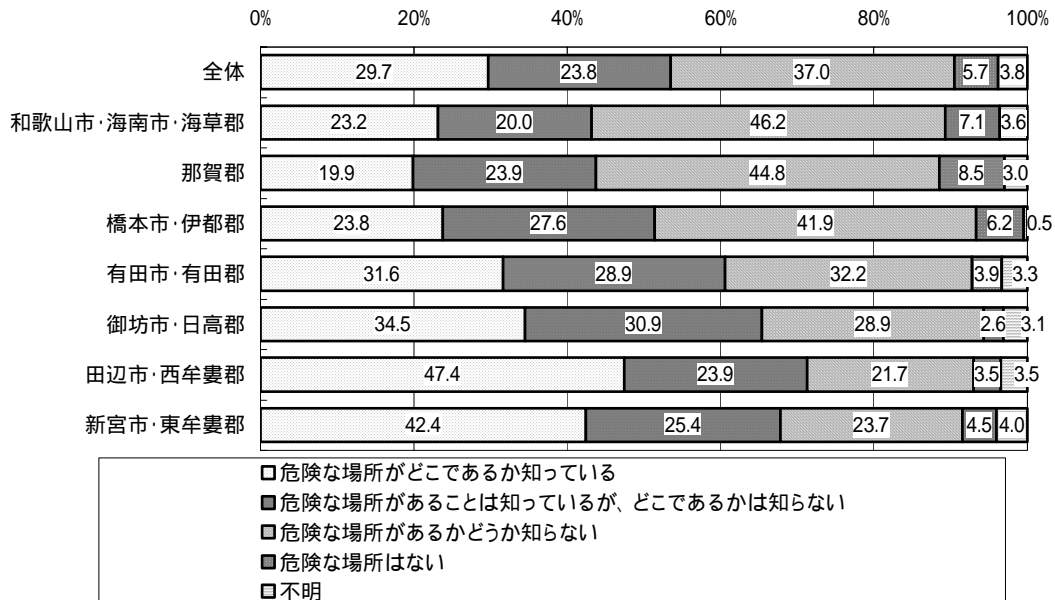
N=1911



居住地域周辺で河川の氾濫、がけ崩れ、津波など災害の危険がある場所を知っているかでは「危険な場所がどこであるか知っている」と回答した人は29.7%のみで「危険な場所があるかどうか知らない」は37.0%にもなっている。

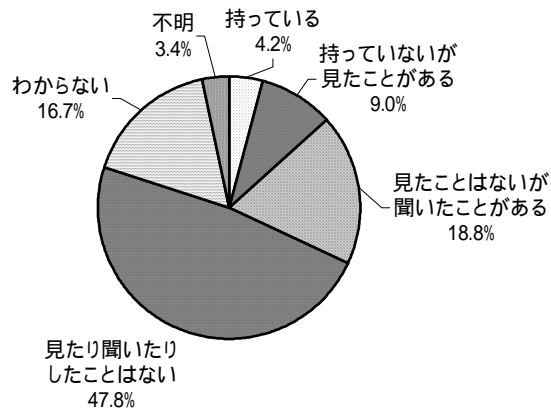
地域別では「危険な場所がどこであるか知っている」は田辺市・西牟婁郡で47.4%、新宮市・東牟婁郡で42.4%と和歌山県南部の地域の方が高くなっている。

〔地域別集計〕



問26. あなたは、お住まいの地域の防災マップや災害危険予測図（ハザードマップ）等を持っていますか。あるいは見たり聞いたりしたことがありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

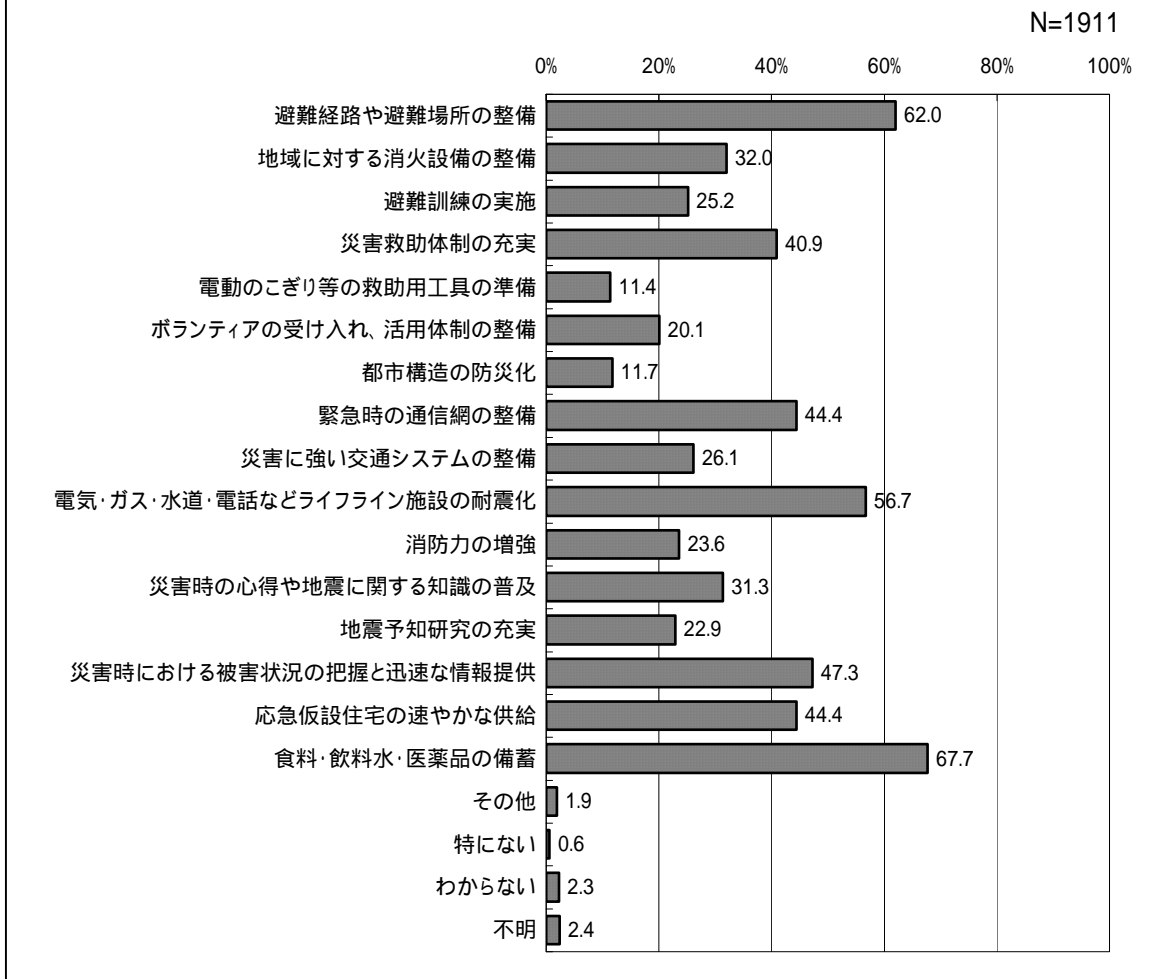
N=1911



地域の防災マップや災害危険予測図（ハザードマップ）等の所有状況は「見たり聞いたりしたことはない」が47.8%で「持っている」と回答した人は4.2%のみとなった。

【 7 . 防災に関する行政の役割について、おたずねします】

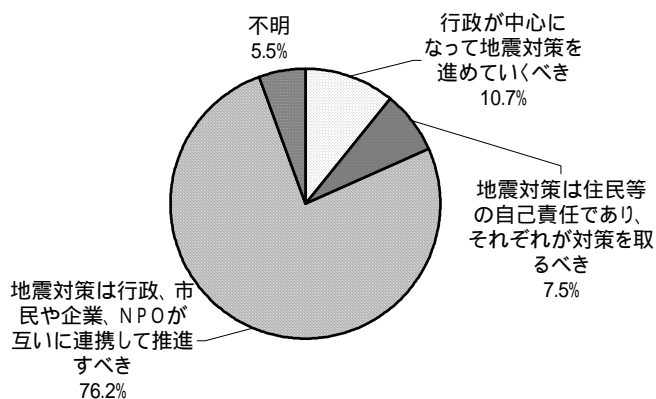
問 2 7 . あなたが東南海・南海地震に関して、県や市町村に特に力を入れてほしい対策はどのようなことですか。あてはまる番号にいくつでも〇をつけてください。



東南海・南海地震に関して、県や市町村に特に力を入れてほしい対策としては「食料・飲料水・医薬品の備蓄」(67.7%)を第一に挙げており、次に「避難経路や避難場所の整備」が62.0%、「電気・ガス・水道・電話などライフライン施設の耐震化」が56.7%とこれら3項目が50%を超えている。

問 2 8 .地震防災体制についての行政と住民等との役割分担についてあなたの考えはどれに近いですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

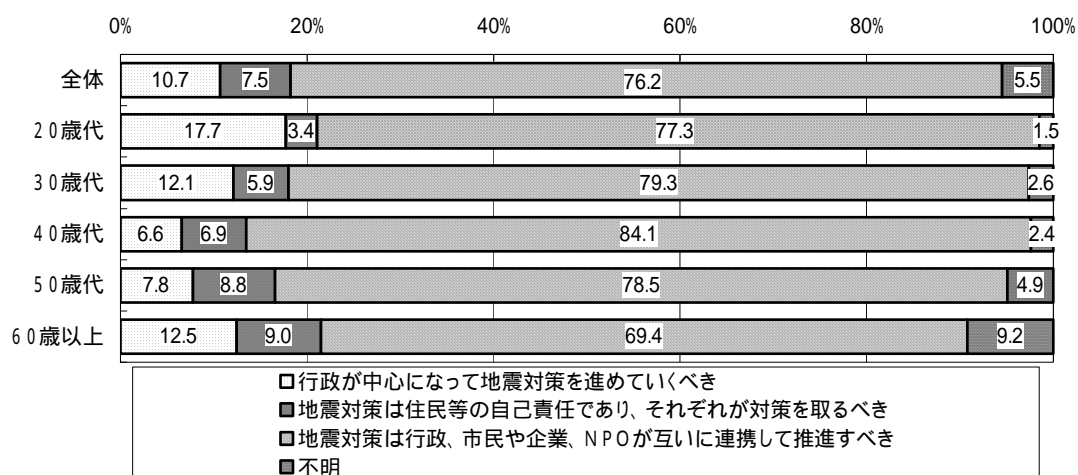
N=1911



地震防災体制についての行政と住民等との役割分担については「地震対策は行政、市民や企業、NPO が互いに連携して推進すべき」が 76.2%と全体の約 3 / 4 が行政・住民・企業・NPO の対等な役割分担を望んでいる。

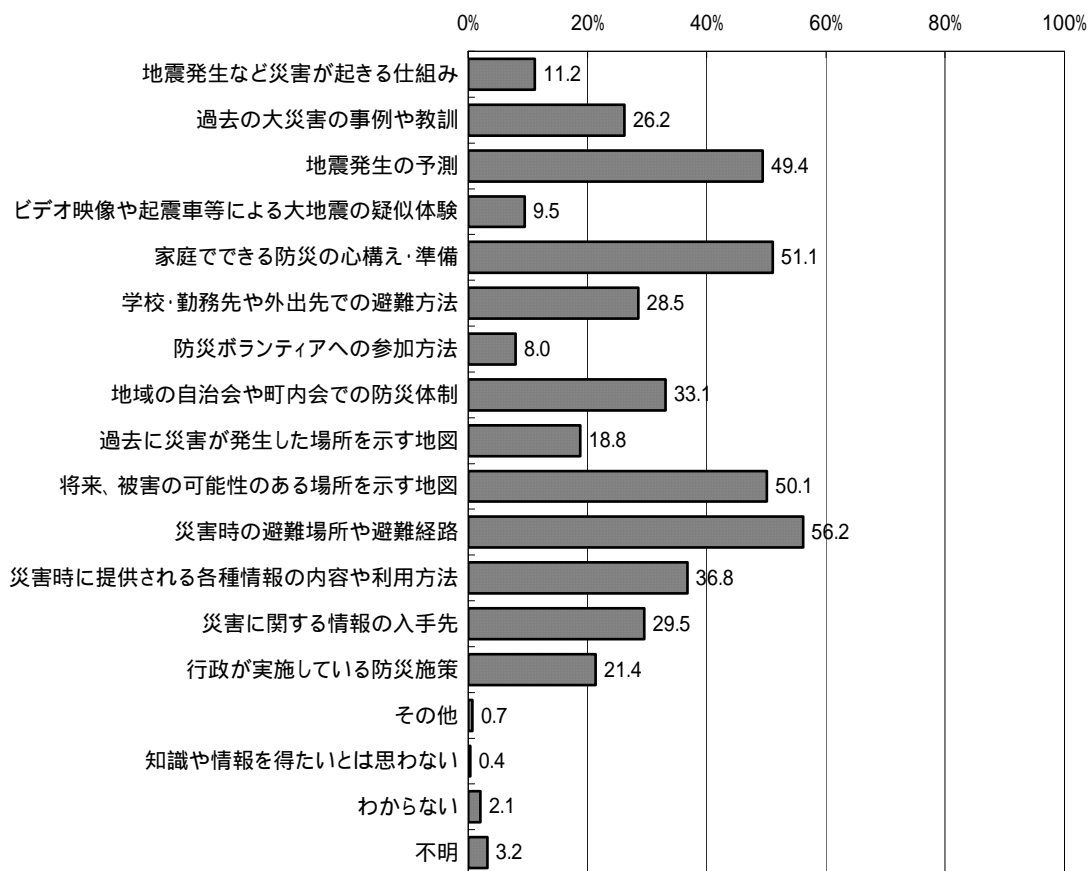
年齢別でみると各年代とも「地震対策は行政、市民や企業、NPO が互いに連携して推進すべき」を望んでおり、特に 20～50 歳代では 70%台後半から 80%台となっている。

(年齢別集計)



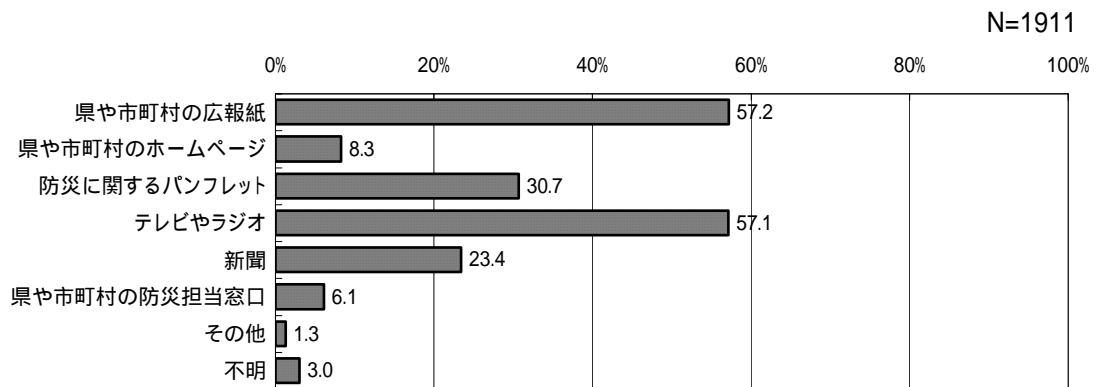
問 2 9 . 日頃充実してほしい防災情報は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

N=1911



充実してほしい防災情報としては「災害時の避難場所や避難経路」が 56.2%で最も高く、次に「家庭でできる防災の心構え・準備」(51.1%)、「将来、被害の可能性のある場所を示す地図」(50.1%)、「地震発生の予測」(49.4%)が上位に挙げられている。

問30 . 防災情報をどのような方法で入手したいですか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。



防災情報の入手方法としては、「県や市町村の広報紙」(57.2%)、「テレビやラジオ」(57.1%)が多くなっている。

問31. 防災（地震）に関するご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

自由意見の記入者は350人、記入率は18.3%であった。主な意見内容は以下の通りである。

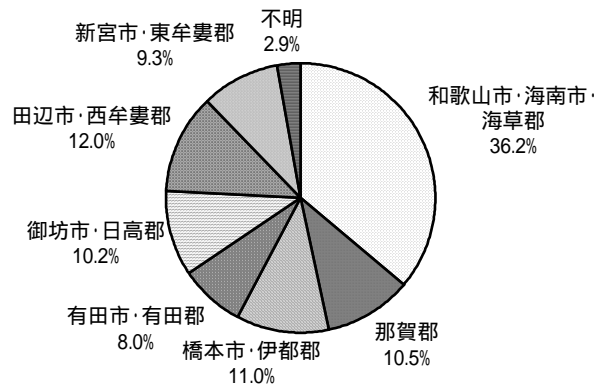
意見内容	件数
防災に対する意識の向上について	105
津波に対する情報の提供について	33
防災に関するパンフレットの配布について	25
避難経路・避難場所の整備について	24
行政の防災に対する情報や対策の明確な提示について	21
防災（地震）全般に関する情報の提供について	21
高齢者、要介護者、乳幼児の避難について	18
行政による耐震診断の実施や耐震化費用の負担について	17
災害時の正確・迅速な情報提供について	13
行政の防災対策について	11
高齢者や要介護者の避難について	11
メディアによる情報の提供について	10
行政の防災対策への予算の投入について	7
防災マップやハザードマップの配布について	8
地震に対する不安について	6

6件以上を掲載しています。

【最後に、あなたご自身について、おたずねします】

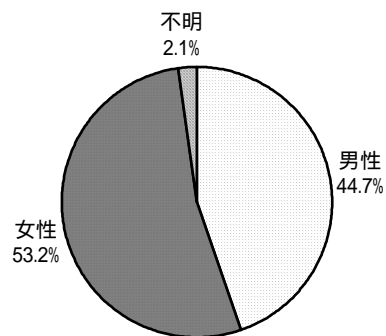
F 1 . あなたは、どちらにお住まいですか。()内に市町村名をお書きください。

N=1911



F 2 . あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

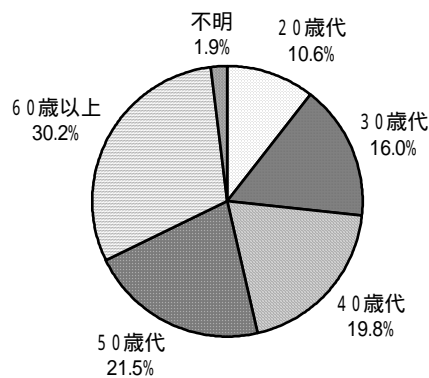
N=1911



F 3 . あなたの年齢はどれにあたりますか。

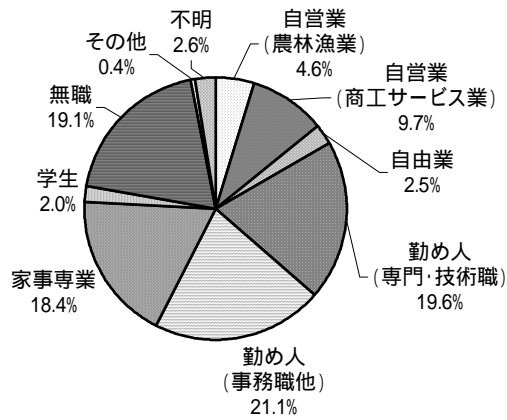
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N=1911



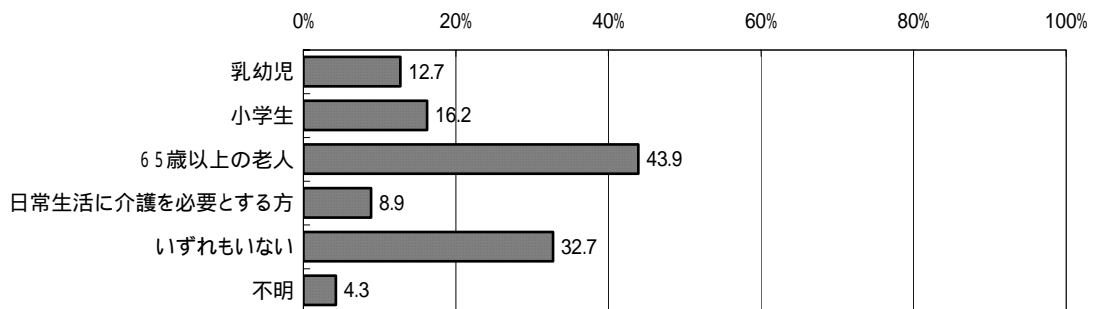
F 4 . あなたの職業はどれにあたりますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

N=1911



F 5 . あなたの家族構成員の中に、次の方はおられますか。
当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

N=1911



F 6 . あなたのお宅の加入保険はどれにあたりますか。
当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

N=1911

